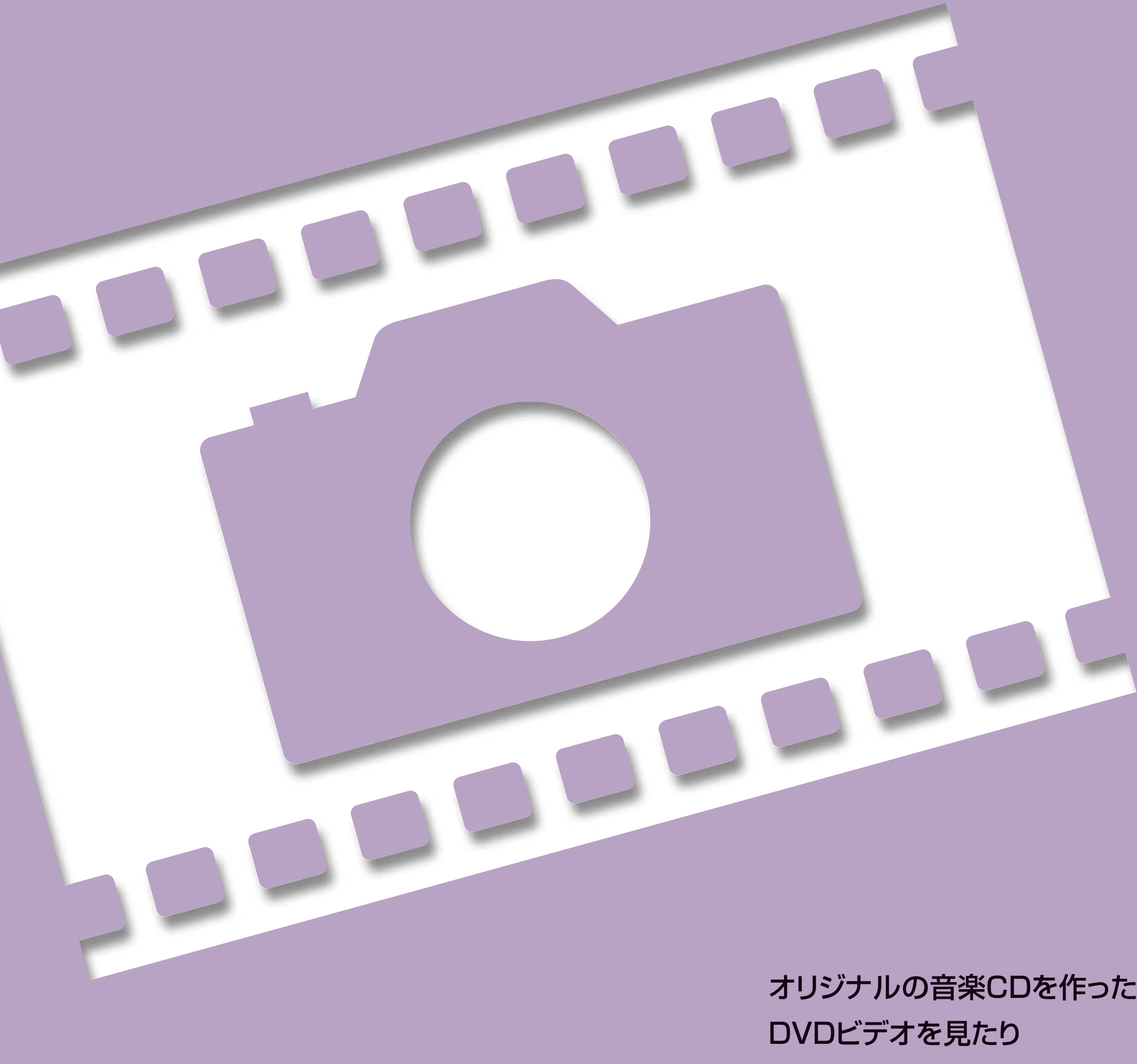
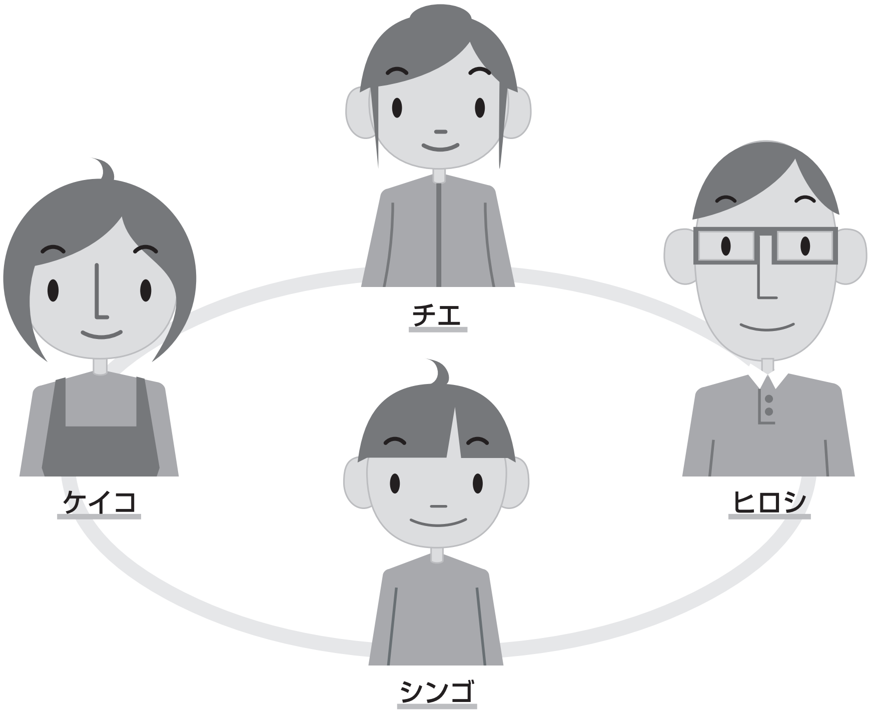
メビウス

活用ガイド



オリジナルの音楽CDを作ったり
DVDビデオを見たり
メビウスを使って楽しもう!

登場人物紹介





はじめに

著作権等に関するご注意

メビウスを利用して各種CD・DVD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。



ご使用前のおことわり

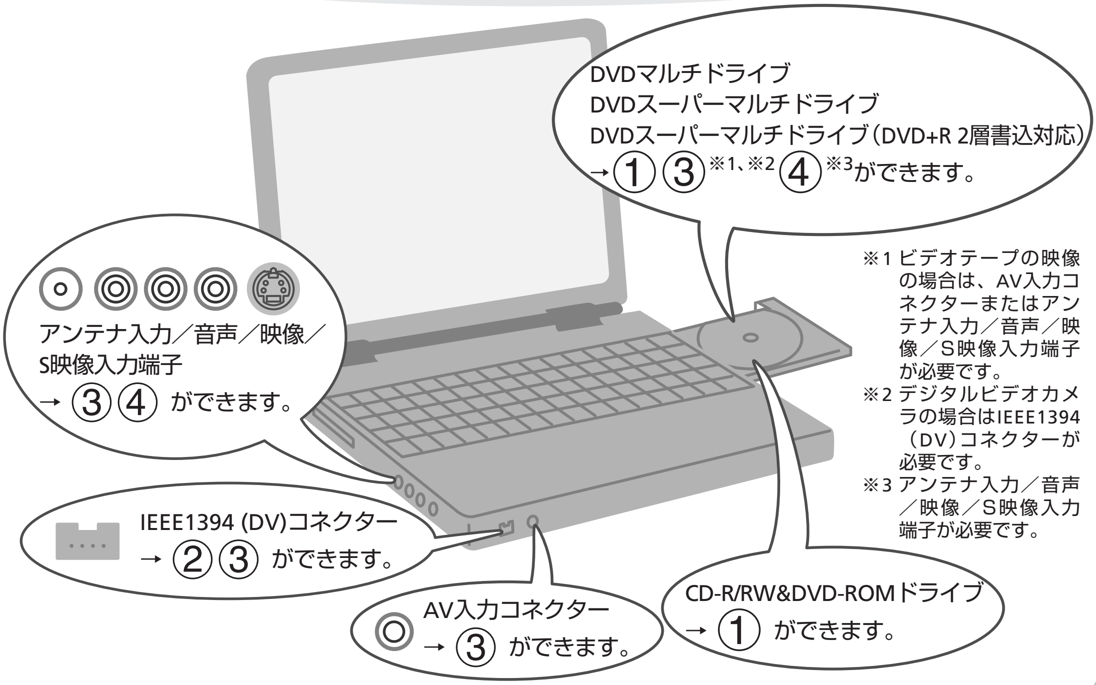
- 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転写、あるいは複製することはお断りします。
- 本書は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載の画面や操作方法は一例です。
  お使いのパソコンにより異なる場合があります。
- お買いあげのメビウスに付属しているアプリケーションソフトウェアは、バージョンや搭載機能が市販のパッケージ商品と一部異なる場合があります。

メビウスを活用してみましょう

Mebius
Practical use

お使いのパソコンには、何がありますか？

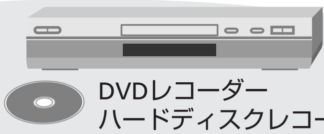
お使いのパソコンについて詳しくは、**取扱説明書（別冊）**を参照してください



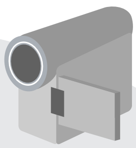
※1 ビデオテープの映像の場合は、AV入力コネクターまたはアンテナ入力／音声／映像／S映像入力端子が必要です。
※2 デジタルビデオカメラの場合はIEEE1394（DV）コネクターが必要です。
※3 アンテナ入力／音声／映像／S映像入力端子が必要です。

③

DVDレコーダー・ハードディスクレコーダーで録画した映像の編集やデジタルビデオカメラの映像、ビデオテープの映像をDVDにしたい！



DVDレコーダー
ハードディスクレコーダー



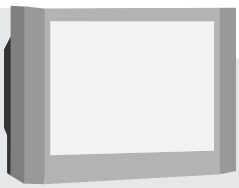
デジタルビデオカメラ※2



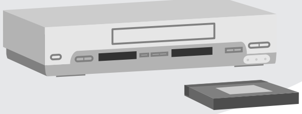
ビデオテープの映像※1

④※3

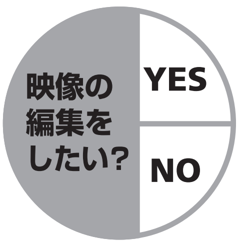
テレビ番組の映像やビデオテープの映像をDVDにしたい！



テレビ番組の映像



ビデオテープの映像



①

オリジナル音楽CDを作りたい！



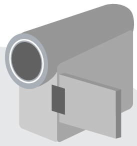
自分だけの
オリジナル音楽CD

Drag'n Drop CD+DVD4

を使用して、音楽CDから好きな曲を集めて、自分だけのオリジナル音楽CDを作ることができます。
（☞38ページ）

②

デジタルビデオカメラの映像を取り込み、編集した後、DVテープへ戻したい！



デジタルビデオ
カメラ

Ulead VideoStudio 7 SE、Ulead VideoStudio 7 SE Basic

を使用して、デジタルビデオカメラの映像を取り込み、編集をした後、DVテープに映像を戻すことができます。
（☞46ページ）

●映像の取り込み ▶ 映像の編集～DVDディスクへの書き込み
●ディスクに直接書き込み

Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE

を使用して、映像の取り込みから編集、DVDの作成までをダイレクトに行えます。
（☞50、56、59、63ページ）

映像の取り込み

WinDVR

を使用して、映像をハードディスクに取り込みます。
テレビ番組の録画については、AV操作ガイド（別冊、テレビチューナー内蔵モデルのみに付属）を参照してください。

映像の編集～DVDディスクへの書き込み

Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE

を使用して、映像を編集し、DVDディスクに書き込みます。
（☞50、70ページ）

ディスクに直接録画

WinDVR

を使用して、映像の取り込みからDVDの作成までをダイレクトに行えます。
（☞68ページ）
テレビ番組の映像の録画からDVDの書き込みまでについては、AV操作ガイド（別冊、テレビチューナー内蔵モデルのみに付属）を参照してください。

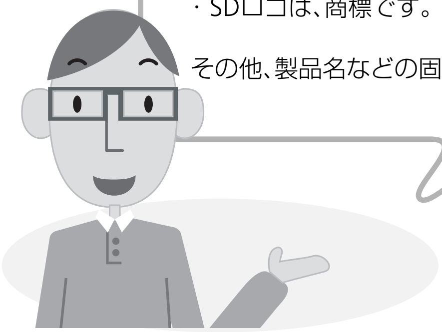
商標、登録商標など

・Microsoft 、Windows 、Outlook 、Officeロゴ は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。また、Windows Media は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
・CompactFlash(コンパクトフラッシュ)、CFは、米国SanDisk Corporationの商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の商標です。
・xD-Picture Card(xDピクチャーカード)は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
・ドルビー、DolbyおよびダブルD記号「 」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権1992-1997ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

・UleadおよびUleadロゴ、DVD MovieWriter、DVD ムービーライター、VideoStudioは、Ulead Systems,Inc.またはユーリードシステムズ株式会社の登録商標です。
・CyberSupportは、株式会社ジャストシステムの商標です。
・CyberSupportは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupportにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・Drag'n Dropは、株式会社デジオン、およびイージーシステムズジャパン株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
・安心楽々は、イージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
・Memory Stick、Memory Stickロゴ、メモリースティック、メモリースティックロゴはソニー株式会社の商標です。
・Ninjaは、株式会社アイフォーの登録商標です。
・WinDVD、WinDVRは、InterVideo, Inc.の商標です。
・McAfee、VirusScan、マカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
・乗換案内は、ジョルダン株式会社の商標です。
・SDロゴは、商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。



本書では、次のアプリケーションソフトウェアを使用した使い方について説明しています。

- Drag'n Drop CD+DVD4
- Microsoft はがきスタジオ Basic 平成17年版
- Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE
- Ulead VideoStudio 7 SE、Ulead VideoStudio 7 SE Basic
- Windows Media Player
- WinDVD
- WinDVR
- 安心楽々引越しパック
- マカフィー･ウイルススキャン

上記のアプリケーションソフトウェアがお買いあげのメビウスに付属しているかは、「どんなソフトが入っているのか調べる」(☞12ページ)の手順に従って、メビウス電子マニュアルの「付属ソフトウェア一覧」で確認してください。



もくじ

メビウス電子マニュアルで調べてみよう

パソコンで音楽・映像を楽しもう

パソコンでいろんなものを作ろう

パソコンのデータを保存しよう

パソコンを管理しよう

メビウス電子マニュアルで調べてみよう



メビウス電子マニュアルを使って、お使いのパソコンに内蔵されているアプリケーションソフトウェアを調べたり、やりたい作業を検索する方法を紹介しています。

BUNDLED
SOFTWARE

どんなソフトが入っているのか調べる

お使いのパソコンにどんなアプリケーションソフトウェアが入っているのか、「メビウス電子マニュアル」を使って調べてみましょう。



1 デスクトップ上の [メビウス電子マニュアル]をクリックします。
デスクトップ上に [メビウス電子マニュアル]が表示されていない場合は、[スタート]をクリックし、「メビウス電子マニュアル」をクリックします。
「メビウス電子マニュアル」が起動します。

ご参考

- 初めて起動したときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。内容を確認して、[同意する]をクリックすると起動します。

2 「情報を見る／ダウンロードする」をクリックします。



3 「付属ソフトウェア一覧を見たい」をクリックします。

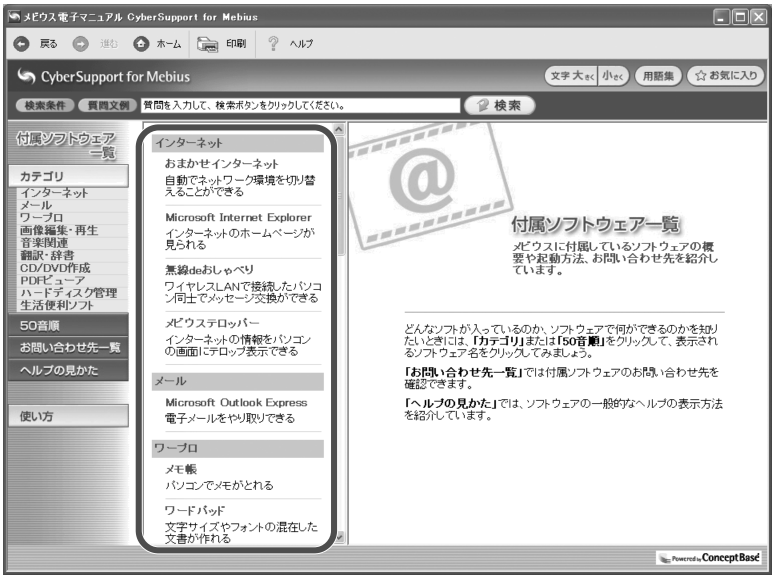


4 左側のメニューから「カテゴリ」をクリックします。

カテゴリリストが表示されます。

5 カテゴリをひとつ選択してクリックします。

画面の中央の列に、付属しているソフトウェアのリストが表示されます。



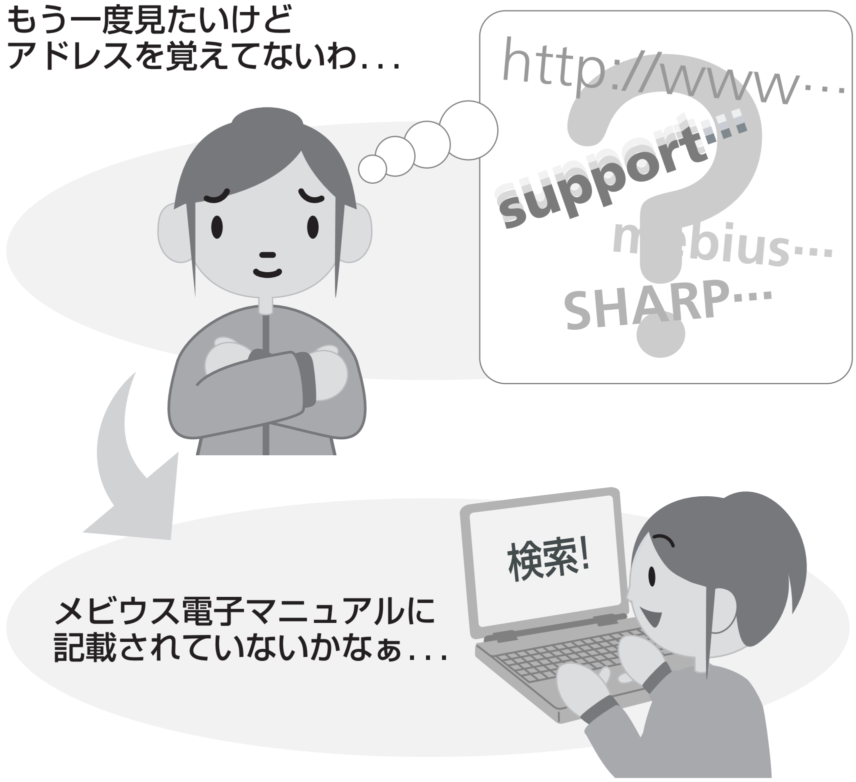
ソフトウェアを50音順に並べることもできます

- 手順**4**で「50音順」をクリックすると、ソフトウェア名が50音順に表示されます。

MEMO

電子マニュアルに説明が載っていないか探す

例えば、アドレスを覚えていないホームページをもう一度見たいとします。ホームページのアドレスをすべて覚えていなくても、アドレスの一部分を頼りにもう一度見る方法の説明が「メビウス電子マニュアル」に載っていないか検索機能を使って調べてみましょう。



1 デスクトップ上の [メビウス電子マニュアル]をクリックします。
デスクトップ上に [メビウス電子マニュアル]が表示されていない場合は、[スタート]をクリックし、「メビウス電子マニュアル」をクリックします。
「メビウス電子マニュアル」が起動します。

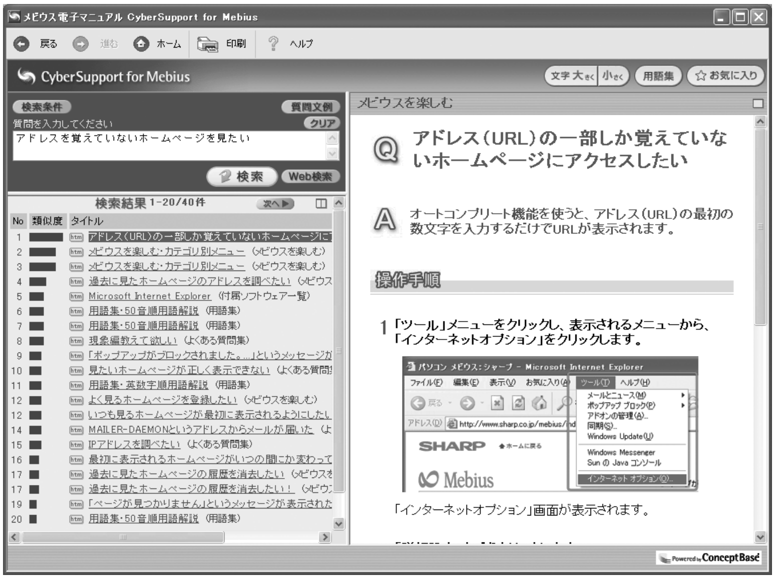
ご参考

- 初めて起動したときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。内容を確認して、[同意する]をクリックすると起動します。

2 画面上部の質問入力欄に「アドレスを覚えていないホームページを見たい」と入力して、[検索]をクリックします。



画面の左側に、検索結果が上から類似度の高いもの順にリスト表示され、右側には、リストの一番上に書かれているマニュアルの該当ページが表示されます。

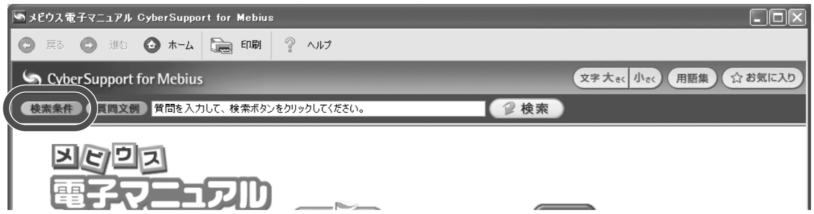


付属のアプリケーションソフトウェアのヘルプを検索するには••••

「メビウス電子マニュアル」では、ご購入時はメビウスの電子マニュアルの内容に加え、限られたアプリケーションソフトウェアの電子マニュアルやヘルプだけが検索できるようになっています。限られたアプリケーションソフトウェア以外の電子マニュアルやヘルプを検索対象に追加すれば、メビウス電子マニュアルで同時に検索できるようになります。

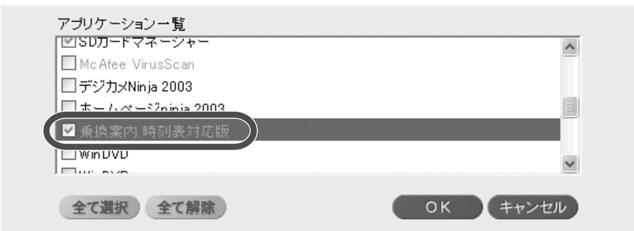
たとえば、以下の手順で「乗換案内 時刻表対応版」のヘルプを検索対象に追加してみましょう。

1 「メビウス電子マニュアル」の左上部にある[検索条件]ボタンをクリックします。



2 表示された画面の左下にある「検索対象の追加」をクリックします。
「検索対象の追加」画面が表示されます。

3 「アプリケーション一覧」欄の「乗換案内 時刻表対応版」の左にあるチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。



4 [OK]をクリックします。
「編集した内容をCyberSupportに反映します。よろしいですか？」と表示されます。

5 [はい]をクリックします。

ご参考

- 付属のアプリケーションソフトウェアによっては、「アプリケーション一覧」に表示されないものもあります。また、検索対象に追加されたアプリケーションソフトウェアでも、電子マニュアルやヘルプの形式によっては、メビウス電子マニュアルで検索できないものがあります。

ソフトの問い合わせ先を調べる

「メビウス電子マニュアル」を使って、付属のアプリケーションソフトウェアの問い合わせ先を調べることができます。**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)とあわせてご利用ください。



1 デスクトップ上の [メビウス電子マニュアル]をクリックします。
デスクトップ上に [メビウス電子マニュアル]が表示されていない場合は、[スタート]をクリックし、「メビウス電子マニュアル」をクリックします。
「メビウス電子マニュアル」が起動します。

ご参考

- 初めて起動したときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。内容を確認して、[同意する]をクリックすると起動します。

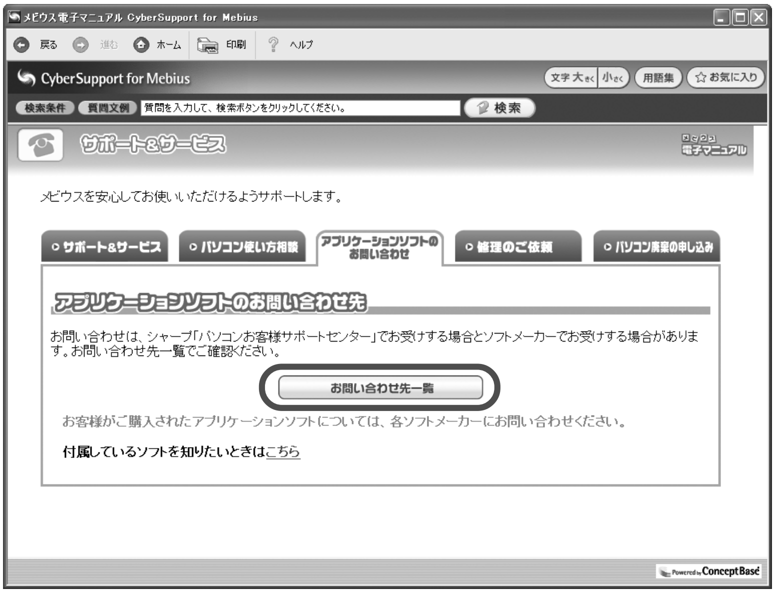
2 「サポート＆サービス」をクリックします。
ここでは、「乗換案内 時刻表対応版」の問い合わせ先を調べてみましょう。



3 「アプリケーションソフトのお問い合わせ」をクリックします。



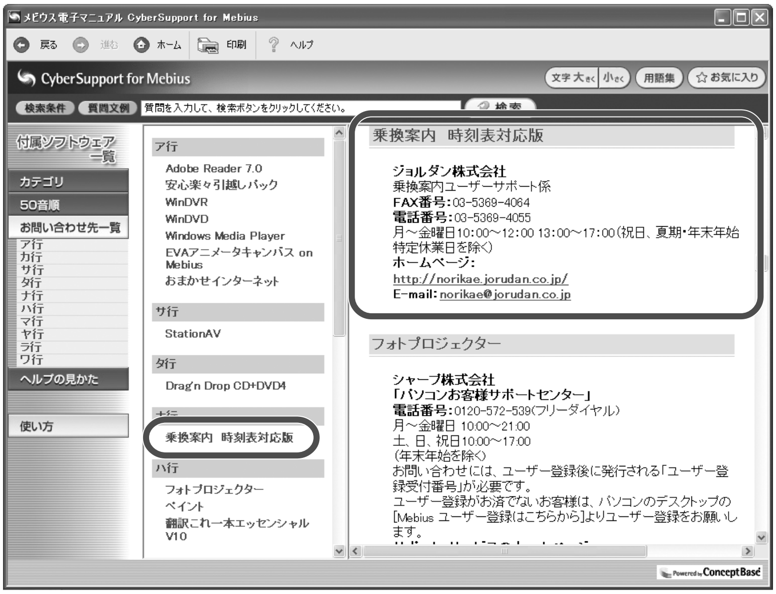
4 「お問い合わせ先一覧」をクリックします。



「お問い合わせ先一覧」が、50音順で表示されます。

5 中央の列から「乗換案内 時刻表対応版」をクリックします。

「乗換案内 時刻表対応版」の問い合わせ先が表示されます。



「付属ソフトウェア一覧」でも問い合わせ先を見ることができます。

- 「付属ソフトウェア一覧」の「カテゴリ」や「50音順」で選んだ付属ソフトウェアの紹介画面で「お問い合わせ先」をクリックしても、問い合わせ先を見ることができます。



MEMO



パソコンで音楽・映像を楽しもう



パソコンで音楽や映像を楽しむ方法を紹介しています。

音楽を聴く

MUSIC

内蔵のCD/DVDドライブおよび「Windows Media Player」を使って音楽CDを聴くことができます。





ご参考

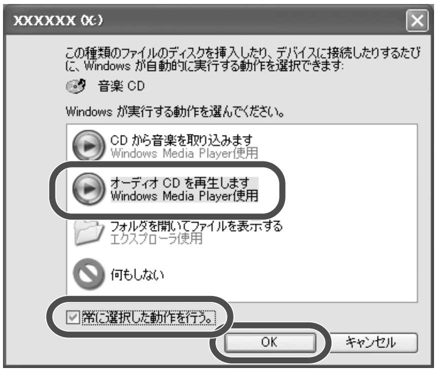
- お使いのパソコンの内蔵スピーカーがモノラルの場合、外部スピーカーまたはヘッドホンを接続して聴くことをお勧めします。
- 外部スピーカー、ヘッドホンの接続のしかたについては**取扱説明書**(別冊)を参照してください。

音楽CDを再生する

1 音楽CDをCD/DVDドライブにセットします。

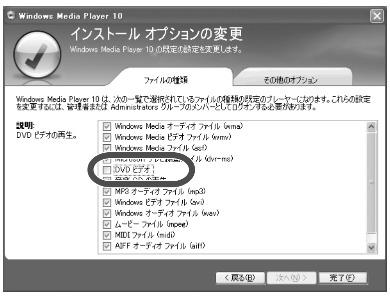
ディスクが認識されると(10秒以上かかります)、「Windows Media Player」が起動し、再生が始まります。

以下のような画面が表示されたときは、「オーディオCDを再生します」をクリックして選択し、「常に選択した動作を行う。」をクリックしてチェックマークをつけ、[OK]をクリックします。

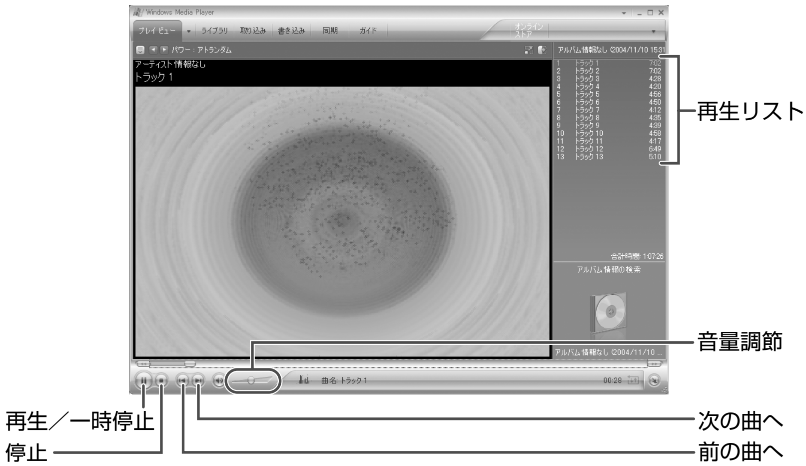


ご参考

- 初めて起動したときは、「Windows Media Player 10へようこそ」画面が表示されます。内容を確認して、設定を完了してください。
インストールオプションの変更では「ファイルの種類」タブでDVDビデオのチェックマークを外してください。



DVDビデオの再生には、「WinDVD」の使用をお勧めします。



2 再生が終了したら、画面右上の をクリックして「Windows Media Player」を閉じます。

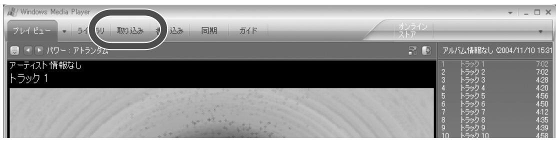
パソコンに取り込んで再生する

ここでは、音楽CDをパソコンに取り込んで再生してみましょう

1 音楽CDをCD/DVDドライブにセットします。

2 自動的に再生が始まったときは、 [停止]をクリックし、いったん再生を止めます。

3 「取り込み」タブをクリックします。



4 トラック（または曲名）のリストが表示されるので、取り込まない曲はトラックの左のチェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。

5 [音楽の取り込み]をクリックします。



6 取り込みオプション画面が表示されたら、オプション設定を完了してください。選択した曲の取り込みが始まります。

7 取り込んだ曲は、「ライブラリ」タブをクリックして、トラック(聴きたい曲)をクリックし、[再生]をクリックします。

ご参考

- 「Windows Media Player」の操作については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。ヘルプは以下の手順で表示させてください。
  ① 「Windows Media Player」の右上の をクリックし、「メニューバーを表示」をクリックします。



  ② メニューバーの「ヘルプ」をクリックし、「Windows Media Player ヘルプ」をクリックします。



- 音量の調節は、「Windows Media Player」で調節する方法のほかに、音量調節つまみやWindowsで調節する方法があります。詳しくは、**取扱説明書**(別冊)の**音量を調節する**を参照してください。お使いのパソコンによっては、音量調節つまみとWindowsでの調節が連動しています。
- 「Windows Media Player」に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。

DVDビデオを見る

DVD VIDEO

内蔵のCD/DVDドライブおよび「WinDVD」を使って、パソコンのディスプレイでDVDビデオをお楽しみいただけます。
DVDビデオを見る場合は、ACアダプターを接続してください。

DVDビデオを楽しむ



DVDビデオを再生するときの準備

再生の途中で不意に止まったりすることを避けるために、再生する前に、次の準備をしてください。

- AC アダプターを接続する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- 画面の表示先は、シングル表示（表示先は１つ）に設定する。
  外部ディスプレイとの同時表示やマルチモニター表示では、正しく再生されないことがあります。

ご参考

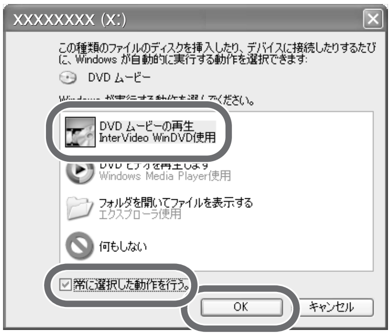
- お使いのパソコンの内蔵スピーカーがモノラルの場合、迫力ある音声で聴くことができません。この場合は、外部スピーカーまたはヘッドホンを接続して聴くことをお勧めします。
  内蔵スピーカーについては、**取扱説明書**（別冊）にて確認してください。
- DVDビデオによっては、コマ落ちする（音声や映像が一瞬途切れる）ことがあります。
- DVDビデオによっては、録音レベルが低く、音量を最大にしても音が小さいものがあります。

DVD ビデオを再生する

1 DVDビデオディスクをCD/DVDドライブにセットします。

ディスクが認識されると（10秒以上かかります）、「WinDVD」が起動し、自動的に再生が始まります。

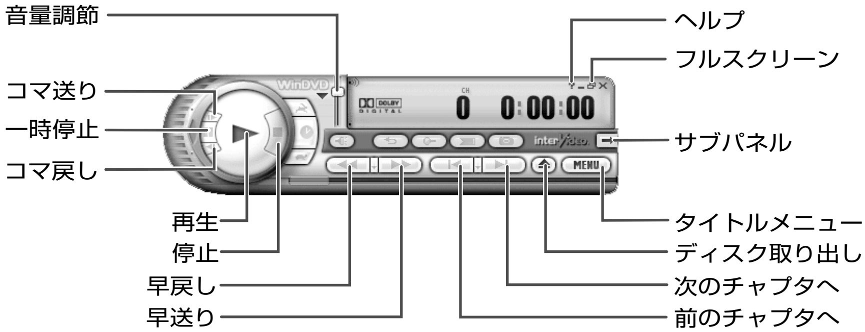
以下のような画面が表示されたときは、「DVDムービーの再生」をクリックして選択し、「常に選択した動作を行う。」をクリックしてチェックマークをつけ、[OK]をクリックします。



ご参考

- 両面が再生できるDVDの場合は、再生面の表記（Side Aなど）がある面を上にしてセットしてください。

コントロールパネル



2 全画面表示にして見たいときは、コントロールパネル右上の [フルスクリーン]をクリックします。

次の方法でも全画面表示にすることができます

- キーボードの Z キーを押す。
- ビデオウィンドウ上でダブルクリックする。

3 全画面表示から元の画面サイズに戻すときは、画面上でクリックすると表示されるコントロールパネル右上の [フルスクリーン]をクリックします。

次の方法でも全画面表示から元の画面サイズに戻すことができます

- キーボードの Z キーを押す。
- 全画面表示の画面上でダブルクリックする。

4 再生が終了したら、画面右上の ☒ をクリックして「WinDVD」を閉じます。

ご参考

- 「WinDVD」の操作については、コントロールパネル右上の「？」をクリックして、ヘルプを参照してください。
- 音量の調節は、「WinDVD」で調節する方法のほかに、音量調節つまみやWindowsで調節する方法があります。詳しくは、**取扱説明書**（別冊）の**音量を調節する**を参照してください。
- 「WinDVD」実行中に、表示先を切り替えたり、解像度や色数など画面表示に関する設定を変更しないでください。画像が乱れることがあります。
- 一時停止後、再生を再開すると画面が一瞬途切れることがあります。
- 「WinDVD」に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、**お客様サポートシステムのご案内**（別冊）をご覧ください。

「WinDVD」をお使いのお客様へ

テレビ出力機能のあるパソコンをお使いのお客様へ

このパソコンは、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

登録特許番号

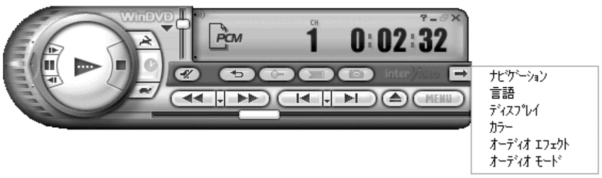
Apparatus Claims of U.S. Patent Nos. 4,631,603, 4,577,216, 4,819,098, and 4,907,093 licensed for limited viewing uses only.

DVDのリージョン番号について

DVDビデオディスクには、リージョン番号（再生可能地域番号：②ALL など）が設定されています。ご購入時の状態で再生が可能なのは、リージョン番号が「2」と「ALL」のディスクです。リージョン番号はＤＶＤビデオディスクに表示されています。国内で制作・販売されているDVDビデオディスクを再生するときは、通常は設定を変更する必要はありませんが、変更できるのは4回までです。変更を必要とする場合は、「WinDVD」のヘルプを参照してください。

サブパネルで調節する

サブパネルを開くと各種効果の設定を変更できます。
コントロールパネルの ➡ ［サブパネル］をクリックし、変更したい項目をクリックします。



ここでは、「カラー」を選択し、MovieEffectorの効果を見てみましょう

1 DVDビデオディスクをCD/DVDドライブにセットします。

ディスクが認識されると（10秒以上かかります）「WinDVD」が起動し、自動的に再生が始まります。

2 ON/OFFボタンがONになっていることを確認し、▼をクリックし「ハーフスクリーン」をクリックします。



ハーフスクリーン表示になった左右の画面を比べてMovieEffectorの効果をみてください。

MovieEffectorの効果をみた後は、
カラーのサブパネルで、ON/OFFボタンがONになっていることを確認し、▼をクリックし「フルスクリーン」をクリックします。

ご参考

- 表示が滑らかでない場合や、CRTディスプレイやテレビに表示する場合は、ON/OFFボタンを OFF にしてください。

ドルビーデジタルサラウンド(5.1チャンネル)を楽しむ

お使いのパソコンに、光デジタルオーディオ出力ジャックがある場合、市販の光デジタルケーブルを使って、パソコンとドルビーデジタルサラウンド方式に対応した機器(AVアンプやスピーカーなど)を接続すると、臨場感あふれる音でDVDビデオをお楽しみいただけます。

5.1チャンネルで録音されたDVDビデオの音声を5.1チャンネルで出力するには、「WinDVD」のセットアップの「オーディオ」タブで「オーディオ出力構成」を「外部プロセッサへのデジタル(S/PDIF)出力」に設定します。詳しくは、「WinDVD」のヘルプを参照してください。

「ドルビーヘッドホン機能」について

お使いのパソコンによっては、付属の「WinDVD」はドルビーヘッドホン機能を搭載しています。ドルビーヘッドホン機能を使うと、ドルビーデジタル5.1チャンネルの立体音響を、お使いのヘッドホンで体感できるようになります。

1 コントロールパネルの [サブパネル]をクリックし、オーディオモードをクリックします。
オーディオモードのサブパネルが開きます。

2 リスニングの▼をクリックし、「ヘッドフォン」をクリックします。

3 [ON/OFF]をクリックして[ON]にします。

「ドルビーバーチャルスピーカー機能」について

ドルビーバーチャルスピーカー機能を使うと、立体感のあるサウンドを楽しむことができます。

1 コントロールパネルの [サブパネル]をクリックし、オーディオモードをクリックします。

オーディオモードのサブパネルが開きます。

2 リスニングの▼をクリックし、「スピーカー」をクリックします。

3 [ON/OFF]をクリックして[ON]にします。

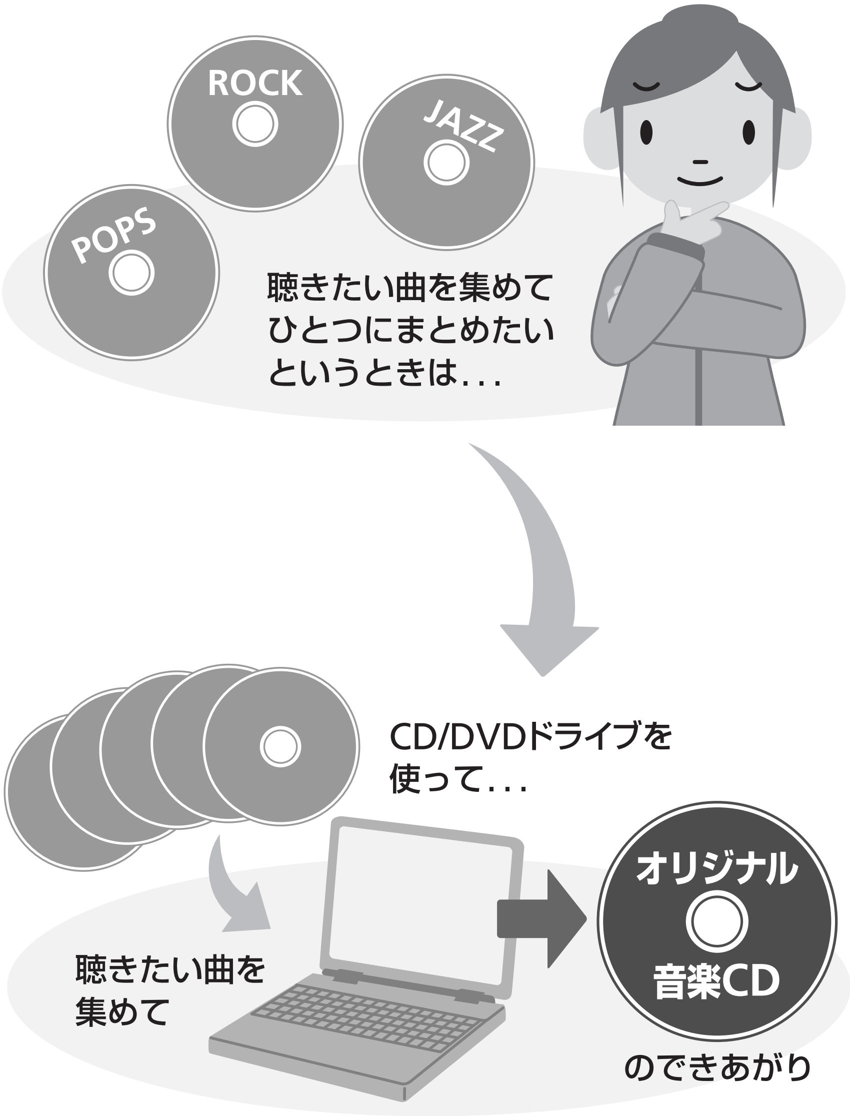
パソコンでいろんなものを作ろう



デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込んだり、年賀状などのはがきやオリジナル音楽CDを作る方法を紹介しています。

オリジナル音楽CDを作る

内蔵のCD/DVDドライブを使って、シングルCDやアルバムCDなど複数の音楽CDからお気に入りの曲だけを1枚のCD-RまたはCD-RWにまとめて、自分だけのオリジナルアルバムCDを作ることができます。



オリジナル音楽CDを作るときのソフトウェアについて

オリジナルの音楽CDを作るには、次のライティングソフトを使います。

● Drag'n Drop CD+DVD4

CD-R/RWについて

下記は、ディスクについての概略です。
CD-R/RWには、保存したデータの書き換えができるタイプとできないタイプがあります。

データの書き換えができないタイプ	データの書き換えができるタイプ
 約700MBでフロッピーディスク約500枚分のデータ保存が可能。データのバックアップやオリジナル音楽CDの作成に向いている。	 データの保存容量はCD-Rと同じ。一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる（約1000回）。書き込む速度はCD-Rよりも少し遅くなる。

※ ディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、音楽CDを作成したときは、ディスクが閉じられるためデータを追加して書き込むことはできません。

ご注意

● 音楽CDを作成するときは、CD-RWではなくCD-Rをご使用になることをお勧めします。CD-RWで作成した音楽CDは、CD-RWに対応したプレーヤーでなければ再生することができません。また、プレーヤーによっては、CD-Rで作成した音楽CDでも再生できないことがあります。

ご参考

● 動作確認済みのCD-Rについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。
● CD規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）の場合、音楽をハードディスクに読み込むことができません。CDのパッケージや印刷物をよくお読みの上、詳細については、CDの発売元へお問い合わせください。

書き込みに失敗しないために

書き込みが途中で不意に止まったりすることを避けるために、書き込みの操作をする前に、次の準備をしてください。

- ACアダプターを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
  ただし、画面右下のタスクバーに (Power(AC Mode))が表示されている機種については、**取扱説明書**(別冊)の**消費電力を節約する**を参照してください。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- ワイヤレスLANが搭載されている場合、ワイヤレスLANを「無効」にする。

ご注意

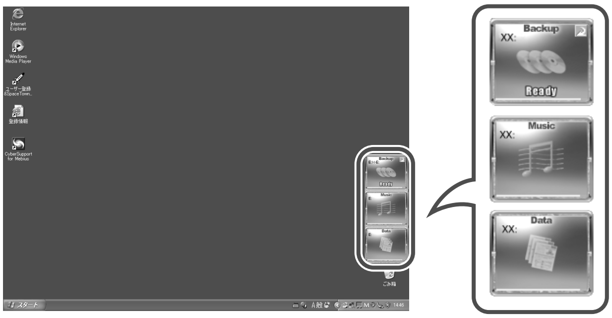
- 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

「Drag'n Drop CD+DVD4」を使ってオリジナル音楽CDを作る

1 書き込みたい曲が入っている音楽CDをCD/DVDドライブにセットします。

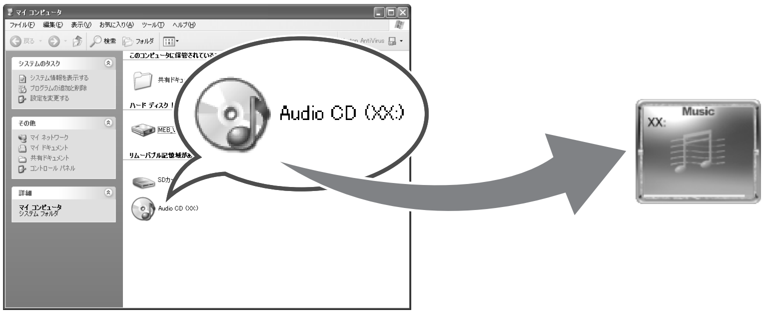
2 音楽CDが認識され、「Windows Media Player」が起動して、再生が始まった場合、画面右上の をクリックし、「Windows Media Player」を閉じます。

3 デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「Data」の3つのボックスが表示されていることを確認します。デスクトップ上にボックスが表示されていない場合は、「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Drag'n Drop CD+DVD4」ー「Drag'n Drop CD+DVD4」をクリックします。



4 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

5 「Audio CD」(または「音楽CD」)と表示されているアイコンをデスクトップ上の「Music」ボックスにドラッグ&ドロップ(アイコンをクリックし、左ボタンを押したままアイコンを目的の場所に移動して左ボタンを離す)します。



自動的に「Audio CD Layout Window」が表示され、音楽CDに収録されている曲情報が「音楽CDトラック情報」欄に表示されます。



表示されている曲情報の名前について

- 「トラック01」が音楽CDに収録されている1曲目を意味しています。

6 「ブランクCDサイズ」欄の ▽ をクリックし、書き込み先となる新しいCD-Rの容量を指定します。



ブランクCDサイズ	21min	63min 74min	79min
必要なCD-Rの容量	185MB	650MB	700MB

7 「音楽CDトラック情報」欄から書き込みたい曲をクリックして選曲します。

クリックすると色が変わります。クリックした曲を試聴したいときは [再生]をクリックします。

複数の曲を選曲するときは、Ctrl キーを押しながらクリックします。

ご参考

- 視聴のときに音が出ないときは
  「CDプレーヤー」の「ミュート」にチェックマークが入っていないか音量の設定を確認してください。
  ① タスクバーの (音量)をダブルクリックし、「ボリュームコントロール」画面を表示します。
  ② 「オプション」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
  「表示するコントロール」の「CDプレーヤー」をクリックし、チェックマークを入れ[OK]をクリックします。
  ③ 「CDプレーヤー」の「ミュート」をクリックし、チェックマークを外すと試聴のときに音が出ます。
  ④ 画面右上の をクリックし、「ボリュームコントロール」画面を終了します。
  試聴が終了したら、音量の設定を元に戻してください。

8 選曲し終わったら、 [追加]をクリックします。

画面右の「ベストアルバムトラック情報」欄に選択した曲が表示されます。選択した曲が書き込むためのデータに変換されます。データ変換が終了するまでしばらく時間がかかります。

ご参考

- 別の音楽CDから別の曲を書き込みたいときは
  手順**8**でデータ変換終了後、CD/DVDドライブから音楽CDを取り出し、別の音楽CDと入れ替えてセットします。しばらくすると「音楽CDトラック情報」欄に音楽CDに収録されている曲情報が表示されますので、手順**7**～**8**と同様の操作で書き込みたい曲を追加します。
- 書き込みたい曲の順番を入れ替えたいときは
  入れ替えたい曲をドラッグ&ドロップして順番を入れ替えることができます。(複数の曲を選んでも同様の方法で順番を入れ替えることができます。)
- 選んだ曲を削除したいときは
  選曲をまちがえたり、書き込み先の容量を超えるような選曲をした場合は、不要な曲をクリックして選択し、 [削除]をクリックしてください。

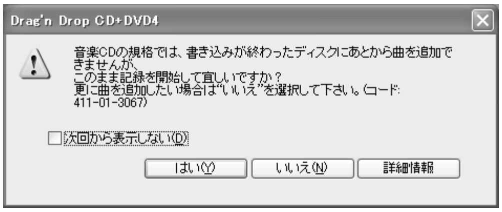
9 [イジェクト]をクリックし、CD/DVDドライブから音楽CDを取り出し、新しいCD-Rをセットします。

新しいCD-Rが認識されると、「CDドライブ」画面が表示される場合があります。

10 「CDドライブ」画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックします。

11  [書き込み]をクリックします。

「Audio CD Layout Window」が閉じ、確認画面が表示されます。



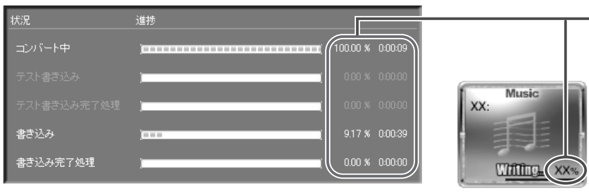
12 [はい]をクリックします。

「書き込み速度の選択」画面が表示されます。

13 「書き込み速度」欄で「Max」が選択されているか確認し、[OK]をクリックします。



CD-Rへの書き込みが開始されます。
書き込み状況が%で表示されます。



書き込み状況

書き込みが終了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD/DVDドライブからCD-Rを取り出してください。

14 [閉じる]をクリックします。

終了するときは

画面右下のタスクバーの （Drag'n Drop CD+DVD4）を右クリックして、[終了]をクリックします。

「Drag'n Drop CD+DVD4」が終了します。

ご参考

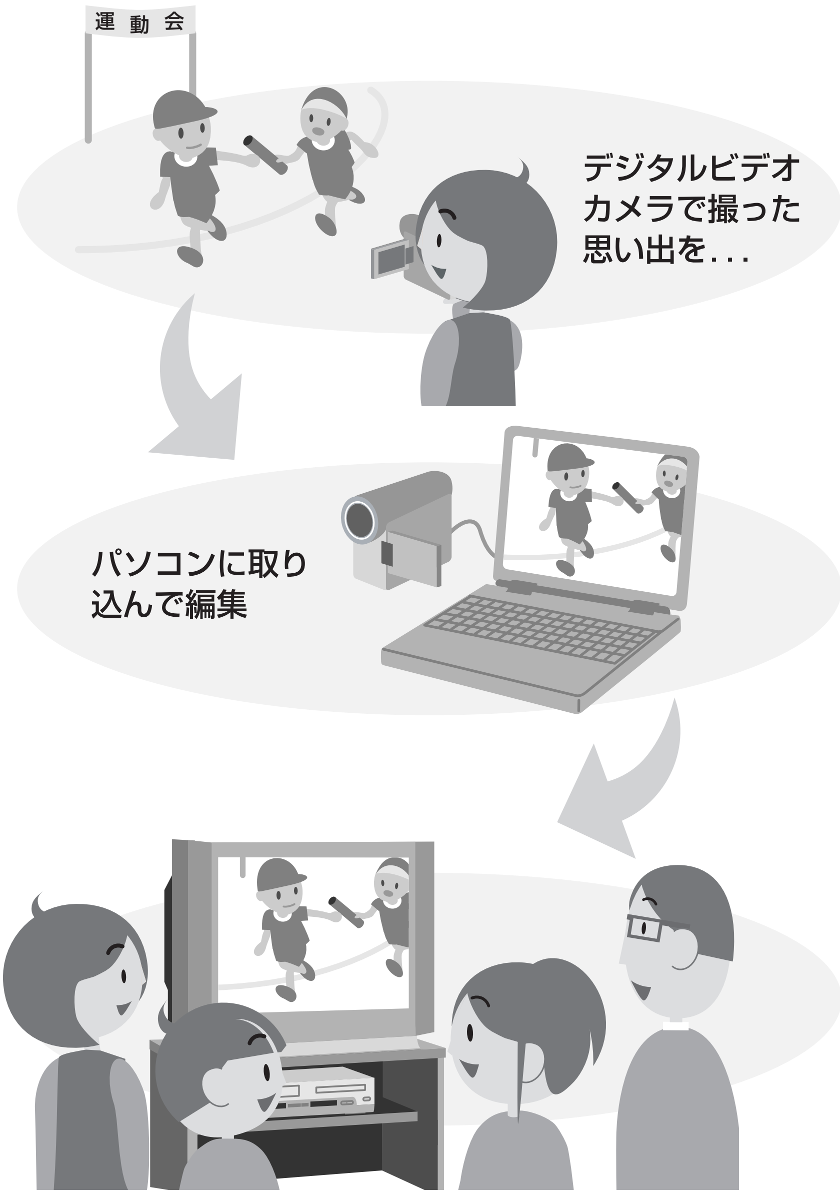
- 「Drag'n Drop CD+DVD4」に関しては、イージーシステムズジャパン株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、メビウス電子ニュアルの「お問い合わせ先一覧」（☞20ページ）でご確認いただくか、お客様サポートシステムのご案内（別冊）をご覧ください。

MEMO

DIGITAL VIDEO CAMERA

映像を取り込む

お使いのパソコンに、IEEE1394コネクター（DVコネクター）がある場合、デジタルビデオカメラから映像を取り込むことができます。また、「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」を使えば、取り込んだ映像をデジタル編集できます。
お使いのパソコンによっては、IEEE1394コネクターがありません。**取扱説明書**（別冊）の「各部の名称」で確認してください。



接続可能なデジタルビデオカメラについて

- 市販されているすべてのデジタルビデオカメラと接続できるわけではありません。接続可能なデジタルビデオカメラについては、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

取り込み／書き出しに失敗しないために

取り込み／書き出しが途中で不意に止まったりすることを避けるために、取り込み／書き出しの操作をする前に、次の準備をしてください。

- ACアダプターを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
  ただし、画面右下のタスクバーに （Power（AC Mode））が表示されている機種については、**取扱説明書**（別冊）**消費電力を節約する**を参照してください。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- ワイヤレスLANが搭載されている場合、ワイヤレスLANを「無効」にする。

ご注意

- 取り込み／書き出し中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

デジタルビデオカメラの映像を取り込む

1 テープを再生できるモードで、デジタルビデオカメラの電源を入れます。

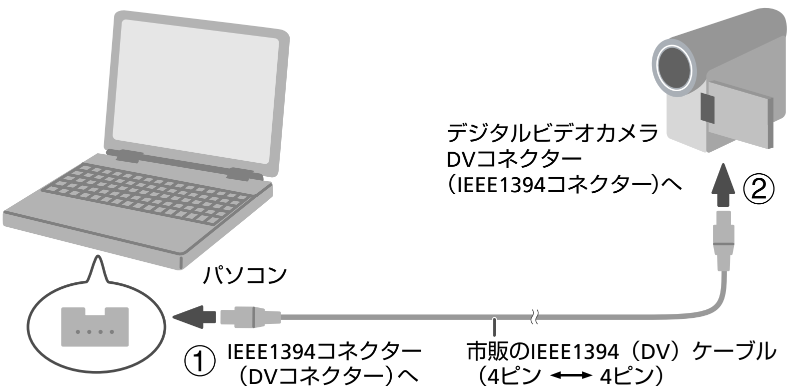
デジタルビデオカメラには、あらかじめ撮影済みのDVテープを入れておいてください。

2 パソコンとデジタルビデオカメラを接続します。

お使いのパソコンに、IEEE1394（DV）ケーブル用のコアが付属されている場合、IEEE1394（DV）ケーブルにコアを取り付けてください。コアの取り付け位置や取り付け方については、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

① DVケーブルのコネクターを、パソコンのIEEE1394コネクターに差し込みます。

② もう一方のコネクターを、デジタルビデオカメラのDVコネクターに差し込みます。



3 「デジタルビデオデバイス」画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックします。

4 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Ulead VideoStudio 7」ー「Ulead VideoStudio 7 SE」または「Ulead VideoStudio 7 SE Basic」をクリックします。

「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」が起動します。

5 「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」を使って映像を取り込みます。

映像の取り込み方法について詳しくは、「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」のユーザーズガイド(PDF)およびヘルプ(PDF)を参照してください。

6 映像の取り込み(キャプチャ)が終わったら、次のステップ(編集)をクリックします。

映像の編集や書き出しの方法については、「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」のユーザーズガイド(PDF)およびヘルプ(PDF)を参照してください。

7 画面右上の ☒ をクリックします。

「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」が終了します。

8 デジタルビデオカメラの電源を切り、IEEE1394(DV)ケーブルを取り外します。

ご参考

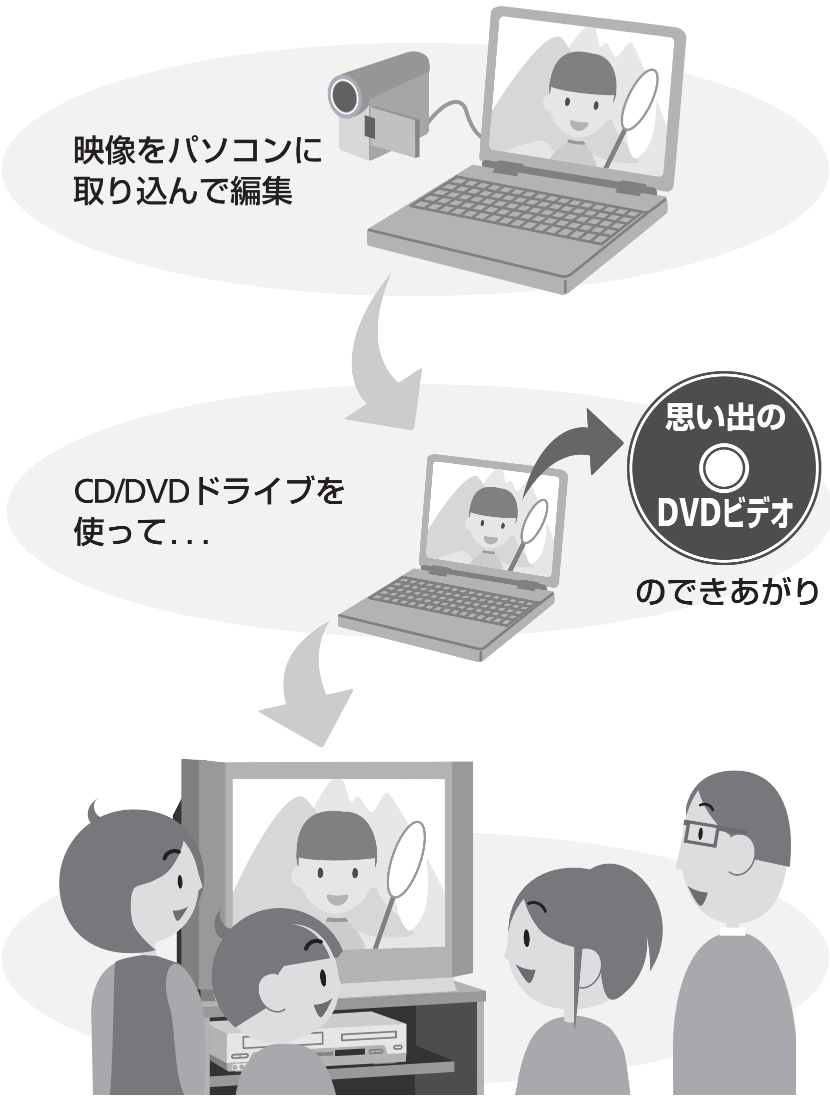
- この他の使い方についての詳細は、ユーザーズガイド(PDF)およびヘルプ(PDF)を参照してください。
  ユーザーズガイドの表示
  [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」—「Ulead VideoStudio 7」—「ユーザーズガイド」をクリックします。
  ヘルプの表示
  「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」の画面左上の「ファイル」をクリックし、「ヘルプ」—「Ulead VideoStudioのヘルプ」をクリックします。
- 編集した映像は「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」を使ってテープに戻すことができます。
- 編集した映像をDVDビデオにすることもできます。(☞次ページ)
- 「Ulead VideoStudio 7 SE / 7 SE Basic」に関しては、ユーリードシステムズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**メビウス電子マニュアル**の「お問い合わせ一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。

DVDビデオを作る

DVD VIDEO

お使いのパソコンに、IEEE1394コネクター（DVコネクター）、アンテナ入力端子、音声入力端子、映像入力端子、S映像入力端子などがある場合、デジタルビデオカメラやテレビ番組、外部機器からの映像を取り込むことができます。また、「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使えば、取り込んだ映像をDVDに書き込むことができます。
お使いのパソコンによっては、IEEE1394コネクター、アンテナ入力端子、音声入力端子、映像入力端子、S映像入力端子などがありません。**取扱説明書**（別冊）の「各部の名称」で確認してください。

また、「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使って、DVDビデオレコーダーで書き込まれた映像を編集することができます。



DVDビデオ作成アプリケーション(Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE)と対応するディスクについて

DVDビデオ作成アプリケーションソフトウェア(Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE)と使用可能なディスクとの組み合わせは、次のようになります。

DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層書込対応)搭載モデルの場合

ディスク / フォーマット	DVD-R	DVD-RW※1	DVD+R		DVD+RW※1	DVD-RAM※1
			1層	2層		
DVD-Video	○	○	○	○	○	×
DVD-VR	×	○※2	×	×	×	○
DVD+VR	×	×	×	×	○	×

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデルの場合

ディスク / フォーマット	DVD-R	DVD-RW※1	DVD+R 1層	DVD+RW※1	DVD-RAM※1
DVD-Video	○	○	○	○	×
DVD-VR	×	○※2	×	×	○
DVD+VR	×	×	×	○	×

DVDマルチドライブ搭載モデルの場合

ディスク / フォーマット	DVD-R	DVD-RW※1	DVD-RAM※1
DVD-Video	○	○	×
DVD-VR	×	○※2	○
DVD+VR	×	×	×

「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使ってビデオCD(CD-R、CD-RW)を作ることもできます。詳しくは「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」のヘルプを参照してください。

※1 追記/再編集ができます。
※2 「WinDVD」、DVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生する場合は、ファイナライズ処理をしてください。

再生について

- 上記「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」に対応したディスクで作成したディスクは「WinDVD」にて再生できます。
- お使いのDVDプレーヤーや、DVDレコーダーで、「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」で作成したディスクを再生する場合は、お使いの製品に付属の説明書を参照してください。お使いの機種により、対応しているディスクが異なります。
- DVDを作成するときは、再生する機器に適応したタイプのディスクをご使用ください。

DVD-R/RW、DVD+R/RWについて

下記は、ディスクについての概略です。
DVD-R/RW、DVD+R/RWには、保存したデータの書き換えができるタイプとできないタイプがあります。

データの書き換えができないタイプ※1、※2





※4

データのバックアップやDVDビデオの作成に向いている。DVD-Rは市販のDVDプレーヤーで再生できるなど、互換性が高い。

データの書き換えができるタイプ※1、※2、※3





DVD-Rの特性に加え、一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる（約1000回）。

※1 DVD-R/RWおよびDVD+R/RWへのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなる場合があります。
※2 ディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。
作成したDVDに「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使って追記できるディスクについては、前ページを参照してください。
※3 旧機種のDVDプレーヤー、DVD-ROMドライブで再生できない（互換性がない）場合があります。
※4 DVD+R（2層）もありますが、CD/DVDドライブおよびアプリケーションソフトウェアが2層書込対応している必要があります。

ご参考

- 動作確認済みのDVD-R/RWまたはDVD+R/RWについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

DVD-RAMについて

下記は、ディスクについての概略です。

DVD-RAMは、データの書き込み、追記、消去ができます。DVD-RAMにはカートリッジ式と非カートリッジ式があります。

非カートリッジ式 ※2、※3

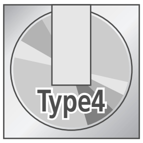


片面約4.7GBのデータ保存が可能

カートリッジ式 ※1、※2、※3



片面約4.7GBのデータ保存が可能



片面約4.7GB、両面約9.4GBのデータ保存が可能※4

※1 お使いのパソコンでカートリッジ式のDVD-RAMを使用するときはType2、またはType4（カートリッジからDVD-RAMが取り出せるタイプ）を使用し、カートリッジからDVD-RAMを取り出して、CD/DVDドライブにセットしてください。

※2 DVD-RAMへのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなります。

※3 DVD-RAMに書き込む場合は、DVD-RAM Ver.2.0またはVer.2.1に準拠したディスクをご使用ください。

※4 お使いのパソコンでは、両面を同時に使用することができません。ディスクの両面にデータを書き込む場合は、片面の書き込み終了後にDVD-RAMを取り出し、裏返してから再度ドライブにセットし、データを書き込んでください。

使用できないDVD-RAMのタイプ

- 8cmのDVD-RAM
- 片面2.6GBのDVD-RAM
- 両面5.2GBのDVD-RAM
- Type1（カートリッジから取り出せないタイプ）のDVD-RAM

ご参考

- 動作確認済みのDVD-RAMについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

Ulead DVD MovieWriter 3.5 SEを使用して、デジタルビデオカメラ／VHSのビデオデッキやハードディスク／DVDレコーダに保存された映像を取り込み、DVDに書き込むときは、次のような流れになります。

DVDを新規に作成する場合（ビデオディスクの新規作成）

↓

❶ デジタルビデオカメラ／VHSのビデオデッキやハードディスクに保存した映像ファイルなどから映像を取り込む。

❷ 新しいDVDディスクをCD/DVD ドライブにセットする。

❸ 取り込んだ映像を編集する。

❹ 画面上でどのように表示されるか確認する。

❺ DVDディスクに書き込む。

↓

DVDディスクに追記／再編集する場合（ディスクに追記／再編集）

↓

❶ DVDレコーダーや「DVD MovieWriter 3.5 SE」で作成したDVDディスクをCD/DVDドライブにセットする。

❷ デジタルビデオカメラやハードディスクに保存した映像ファイルなどから新たな映像を取り込む。

❸ 再生する順番を入れ替える。

❹ 取り込んだ映像を編集する。

❺ 画面上でどのように表示されるか確認する。

❻ 変更した内容をDVDディスクに書き込む。

↓

編集せずにDVDをダイレクトに作成する場合（ディスクに直接録画）

↓

❶ デジタルビデオカメラやVHSのビデオデッキをパソコンに接続する。

❷ 新しいDVDディスクをCD/DVD ドライブにセットする。

❸ 接続した機器を選択する。

❹ 録画開始位置を設定する録画開始位置に移動させる。

❺ 録画を開始する。

↓

DVDのできあがり！

デジタルビデオカメラの映像を取り込み、より凝った映像編集をしてDVDディスクに書き込むときは

- 「Ulead VideoStudio 7 SE」を使うと映像を重ねたり、より凝った映像編集をすることができます。より凝った編集をしてDVDディスクに書き込むときは、次のような流れになります。

「Ulead VideoStudio 7 SE」を使用

↓

❶ 映像を取り込む
❷ 映像を編集
❸ 編集した映像をハードディスクに保存
❹ Ulead DVD MovieWriter 3.5 SEを使用してDVDを作成

接続可能なデジタルビデオカメラについて

- 市販されているすべてのデジタルビデオカメラと接続できるわけではありません。接続可能なデジタルビデオカメラについては、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

書き込みに失敗しないために

書き込みが途中で不意に止まったりすることを避けるために、書き込みの操作をする前に、次の準備をしてください。

- ACアダプターを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
  ただし、画面右下のタスクバーに （Power（AC Mode））が表示されている機種については、**取扱説明書**（別冊） の**消費電力を節約する**を参照してください。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- ワイヤレスLANが搭載されている場合、ワイヤレスLANを「無効」にする。

ご注意

- 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

ご参考

- 動作確認済みのDVD-RAM、またはDVD-R/RW、DVD+R/RWについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

著作権保護機能について

- 「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」、「WinDVR」は著作権保護機能として、マクロビジョン方式、CGMS-A方式に対応しております。
  そのため、録画禁止および1回のみ録画可能なビデオ映像については表示されません。また、取り込み･書き込み（録画）もできません。
- レコーダーなどで1回だけ録画可能な番組を録画したDVDディスクの映像は表示されません。また、追記／編集することもできません。

デジタルビデオカメラの映像をDVDに書き込む

ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像を、「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使用してDVD-Rに直接書き込む方法について説明します。
「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」と対応するディスクについては、51ページを参照してください。

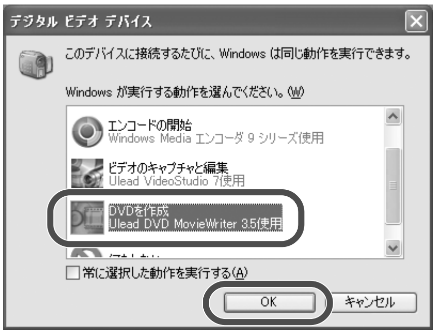
1 DVテープを再生できるモードで、デジタルビデオカメラの電源を入れます。

デジタルビデオカメラには、あらかじめ撮影済みのＤＶテープを入れておいてください。

2 市販のIEEE1394(DV)ケーブルを使って、パソコンとデジタルビデオカメラを接続します。

お使いのパソコンにIEEE1394(DV)ケーブル用のコアが付属されている場合、IEEE1394(DV)ケーブルにコアを取り付けてください。コアの取り付け位置や取り付けかたについては、**取扱説明書**(別冊)を参照してください。

3 「デジタルビデオデバイス」画面が表示されたら、[DVDを作成]をクリックして選択し、[OK]をクリックします。



ご参考

- はじめて起動したときは、ユーザー登録画面が表示されます。「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」のサポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。「今すぐ登録」または「後で登録」のいずれかを選択し、ユーザー登録を行ってください。

4 新しいDVD-RをCD/DVDドライブにセットします。「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

5 [ディスクに直接録画]をクリックします。



6 「出力ディスク形式」で「DVD」を選択し、[次へ]をクリックします。



7 記録フォーマットを選択する画面が表示されたら「DVDビデオ形式」を選択し、[OK]をクリックします。



「ディスクに直接録画」画面が表示されます。

8 「ソース」の ▼ をクリックし、接続した機器を選択します。



9 「キャプチャモード」で ▼ をクリックし、「フルDVテープ(ビットレート自動)」を選択します。



10 [キャプチャを開始]をクリックします。



テープの収録時間が確認されます。DVテープが自動で巻き戻され、テープの先頭からオートスキャンされます。

テープの収録時間の確認が完了すると、キャプチャが開始されます。

現在の状況にディスク作成の処理状況が表示されます。

11 「操作が完了しました。」と表示されたら、[閉じる]を選択し、[OK]をクリックします。

書き込みが終了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD/DVDドライブからDVD-Rを取り出してください。

ご参考

- 「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」に関しては、ユーリードシステムズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**メビウス電子マニュアル**の「お問い合わせ一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。

DVDレコーダーで作成した映像を編集する

ここでは、DVDレコーダーで作成したDVD-RAMの映像を「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使用して不要な部分をカットし、結合する方法について説明します。
作成したDVDに追記／再編集ができるディスクについては、51ページを参照してださい。

1 DVDレコーダーで書き込んだDVD-RAMディスクをCD/DVDドライブにセットします。ディスクの内容を表示する画面が表示された場合は、画面右上の ☒ をクリックします。

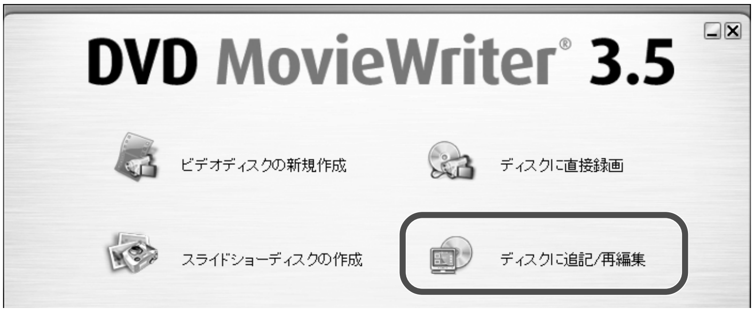
2 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」－「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」をクリックします。

「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」が起動します。

ご参考

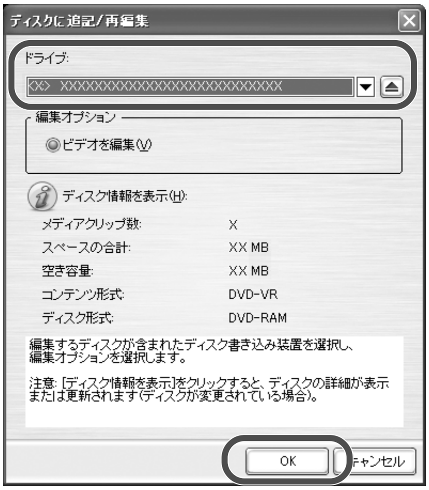
- はじめて起動したときは、ユーザー登録画面が表示されます。「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」のサポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。「今すぐ登録」または「後で登録」のいずれかを選択し、ユーザー登録を行ってください。

3 [ディスクに追記/再編集]をクリックします。



「ディスクに追記／再編集」画面が表示されます。

4 「ドライブ」欄で、編集するディスクをセットしたCD/DVDドライブが選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。



「メディアを追加/編集」画面が表示されます。

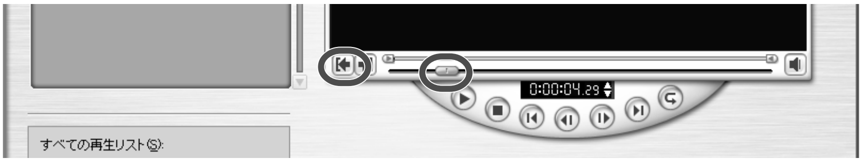
5 「再生リスト」タブをクリックします。



6 「プログラムリスト」から編集したい映像をクリックして選択します。



7 必要な映像の先頭に［ジョグバー］を移動し、［マークインボタン］をクリックします。



8 必要な映像の最後に［ジョグバー］を移動し、［マークアウトボタン］をクリックします。

9 ［再生リストに追加］をクリックします。



10 手順**6**〜**9**の操作を繰り返して、映像を編集します。

「プログラムリスト」からは、手順**6**で選択した同じムービーをクリックし、不要な部分をカットしていきます。

11 「リスト」欄から、編集した映像を選択します。

複数の映像を選択するときは、Ctrlキーを押しながらクリックします。



12 ［セルを結合］をクリックします。



13 [次へ]をクリックします。

14 [書き込み開始]をクリックします。

15 「処理が完了しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。



16 をクリックして終了します。

CD/DVDドライブから ディスクを取り出してください。



ご参考

- 「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」に関しては、ユーリードシステムズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**メビウス電子マニュアル**の「お問い合わせ一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。

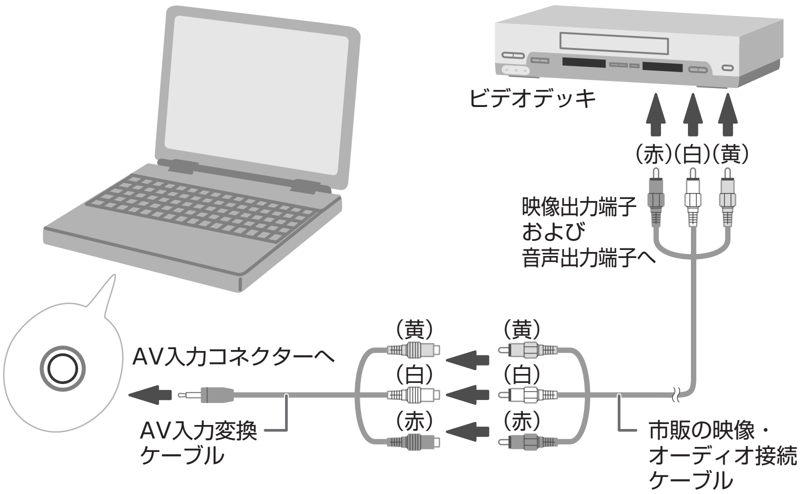
VHSビデオテープの映像をDVDに書き込む

ここでは、120分のVHSビデオテープの映像を「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使用してDVD-Rに直接書き込む方法について説明します。
「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」と対応するディスクについては、51ページを参照してください。

1 パソコンとビデオデッキを接続します。

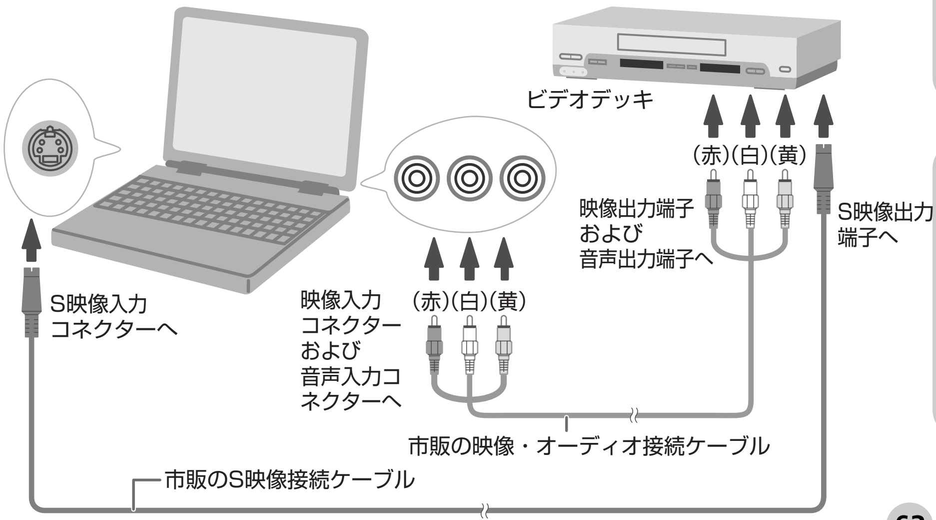
AV入力コネクターがあるパソコンの場合

AV入力コネクターの位置や接続のしかたについては、**取扱説明書**(別冊)を参照してください。



S映像入力コネクター、音声入力/映像入力コネクターがあるパソコンの場合

S映像入力コネクター、音声入力/映像入力コネクターの位置や接続のしかたについては、**取扱説明書**(別冊)を参照してください。



2 ビデオデッキにVHSビデオテープを挿入して、頭出しをして「一時停止」しておきます。

3 新しいDVD-RをCD/DVDドライブにセットします。「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

4 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」－「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」をクリックします。

「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」が起動します。

ご参考

- はじめて起動したときは、ユーザー登録画面が表示されます。「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」のサポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。「今すぐ登録」または「後で登録」のいずれかを選択し、ユーザー登録を行ってください。

5 [ディスクに直接録画]をクリックします。



「ディスクに直接録画」画面が表示されます。

6 「出力ディスク形式」欄で「DVD」を選択し、ドライブを確認し、[OK]をクリックします。



7 記録フォーマットを選択する画面が表示されたら「DVDビデオ形式」を選択し、[OK]をクリックします。



「ディスクに直接録画」画面が表示されます。

S映像入力コネクター、音声入力／映像入力コネクターがあるパソコンの場合次の設定をしてください。

① 「システムには使用可能なキャプチャデバイスがありません」のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

② [オプションパネルを表示]をクリックします。



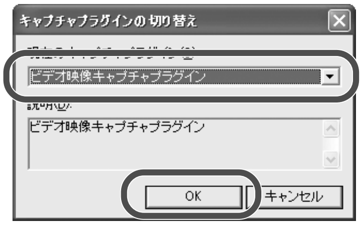
[詳細設定]が表示されます。

③ [詳細設定]をクリックし、表示されたメニューから「キャプチャプラグインの切り替え」をクリックします。



キャプチャプラグインの切り替え画面が表示されます。

④ ▼ をクリックし、表示された「ビデオ映像キャプチャプラグイン」を選択し、[OK] をクリックします。



⑤ [詳細設定] をクリックし、表示されたメニューから「ソースを入力」をクリックします。

⑥「ソースを入力」で ▼ をクリックし、映像･オーディオ接続ケーブルで接続した場合は、「Video Composite」を、S映像接続ケーブルで接続した場合は「Video S-video」を選択し、[OK] をクリックします。

8 「ソース」に接続した機器（キャプチャデバイス）が表示されているのを確認します。



9 「キャプチャモード」で「設定した時間キャプチャ」を選択し、VHSビデオテープに映像が録画された時間を入力します。ここでは2時間を入力します。



10 ビデオデッキでテープの再生をします。

11 再生されたらすぐに [キャプチャを開始]をクリックします。



現在の状況にディスク作成の処理状況が表示されます。

12 ディスクサイズに合わせて自動にビットレートを下げるかのメッセージが表示された場合は、[OK]をクリックします。

13 「操作が完了しました。」と表示されたら、「開始ページへ戻る」を選択し、[OK]をクリックします。

書き込みが終了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD/DVDドライブからDVD-Rを取り出してください。

14 画面右上の をクリックして終了します。

ご参考

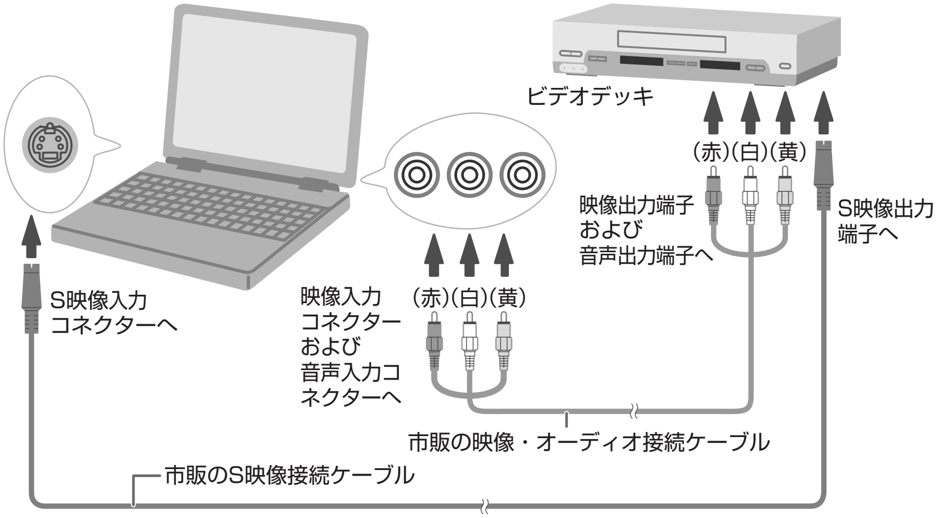
- 「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」に関しては、ユーリードシステムズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**メビウス電子マニュアル**の「お問い合わせ一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。

VHSビデオテープの映像をDVDに書き込む（テレビチューナー内蔵モデルの場合）

VHSビデオテープの映像を編集しない場合は、「WinDVR」を使用して、DVDに直接録画できます。

1 パソコンとビデオデッキを接続します。

S映像入力コネクター、音声入力／映像入力コネクターの位置や接続のしかたについては、**取扱説明書**(別冊)を参照してください。



2 ビデオデッキにVHSビデオテープを挿入して、頭出しをしておきます。

3 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「InterVideo WinDVR5」－「InterVideo WinDVR5」をクリックします。

「WinDVR」が起動します。

4 チャンネル情報をスキャンするかの画面が表示された場合は、[OK]をクリックします。次にセットアップ画面が表示されますので、ここでは[キャンセル]をクリックします。

ご参考

- 全画面表示の場合、画面上でダブルクリックするとプレーヤーパネルが表示されます。

5 「WinDVR」の画面上で右クリックし、表示されたメニューの「入力ソース」－「コンポジット」をクリックします。

6 新しいDVD-RをCD/DVDドライブにセットします。

7 プレーヤーパネルの をクリックし、表示されたメニューの「録画」をクリックします。

サブパネルが表示されます。



8 サブパネルの「デバイス」で▼をクリックし、ディスクをセットしたドライブを選択します。

9 ビデオデッキで映像を再生します。

10 再生されたらすぐに [録画]をクリックします。

録画が始まります。

11 録画を終了するときは、 [停止]をクリックします。

12 ファイナライズのメッセージ画面が表示されますので、[はい]をクリックします。

13 書き込みが終了すると自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD/DVDドライブからDVD-Rを取り出してください。

ご参考

- 「WinDVR」に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。
- 「WinDVR」を使用して、VHSビデオテープの映像を直接書き込むときは、DVD-R、DVD-RW、DVD+R(1層)、DVD+RW、DVD-RAMが使用できます。

ハードディスクの映像をDVDに書き込む

ここでは、ハードディスクに取り込んだテレビ番組の映像を「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使用してCMカットして、DVD-Rに書き込む方法について説明します。
「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」と対応するディスクについては、51ページを参照してください。

テレビ番組の録画については、**AV操作ガイド**(別冊、テレビチューナー内蔵モデルのみに付属)を参照してください。
テレビ番組の映像を編集しない場合は、「WinDVR」を使用するとDVDに直接録画することができます。
詳細については、**AV操作ガイド**(別冊、テレビチューナー内蔵モデルのみに付属)を参照してください。

1 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」－「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」をクリックします。

「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」が起動します。

ご参考

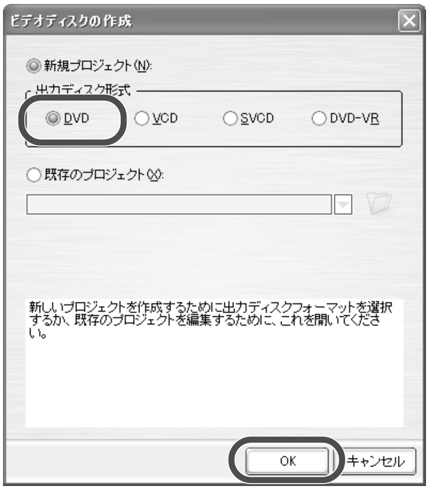
- はじめて起動したときは、ユーザー登録画面が表示されます。「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」のサポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。「今すぐ登録」または「後で登録」のいずれかを選択し、ユーザー登録を行ってください。

2 [ビデオディスクの新規作成]をクリックします。



「ビデオディスクの作成」画面が表示されます。

3 「出力ディスク形式」欄で「DVD」を選択し、[OK]をクリックします。



「メディアを追加/編集」画面が表示されます。

4 「メディアの追加」欄から [ビデオファイルを追加]をクリックします。



「ビデオファイルを開く」画面が表示されます。

5 「ファイルの場所」欄で映像データが入っているフォルダを指定し、取り込む映像データを選択します。

ここでは、「C:￥WinDVR」を指定します。



6 書き込みたい映像データをクリックします。

[プレビュー]をクリックすると、ビデオファイルのサムネイルが表示されます。

7 [再生ボタン]をクリックし、ビデオファイルの内容を確認します。

停止するときは、[停止]ボタンをクリックします。

8 [開く]をクリックします。

メディアリストにビデオファイルが取り込まれます。

9 [ビデオの複数カット]をクリックします。

ビデオの複数カット画面が表示されます。

10 [自動CM検出]をクリックします。



11 メッセージ画面が表示されたら[OK]をクリックします。

「リスト」欄に検出されたシーンが表示されます。

12 検出されたいらないシーンをクリックし [削除]をクリックします。

13 [OK]をクリックします。

「メディアを追加/編集」画面が表示されます。

14 [次へ]をクリックします。

「セットアップメニュー」画面が表示されます。

15 [次へ]をクリックします。

「プレビュー」画面が表示されます。

ご参考

- ▶ [再生]をクリックして、CMがカットされているか確認します。■ [停止]をクリックします。カットされていない場合、[戻る]をクリックして「メディアを追加/編集」画面に戻り、手動でカットしてください。

16 [次へ]をクリックします。

「出力」画面が表示されます。

17 新しいDVD-RをCD/DVDドライブにセットします。「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

18 「ディスクへの書き込み」にチェックマークが付いていることを確認して、レコーディング形式を選択します。

ここでは、「DVD-Video」形式を選択します。



ご参考

- ビデオファイルがDVDディスク1枚に収まらない場合、出力画面の[1枚のDVDに収める]をクリックすると、サイズを自動的に調整しますので、1枚のDVDに書き込むことができます。

19 「書き込み開始」をクリックします。

20 メッセージが表示された場合は、[OK]をクリックします。

DVD-Rへの書き込みが開始されます。
ディスクへの書き込みの進行状況が表示されます。

21 「操作が完了しました。」と表示されたら、[開始ページへ戻る]を選択し、[OK]をクリックします。

書き込みが終了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD/DVDドライブからDVD-Rを取り出してください。

22 「現在のプロジェクトを保存しますか」と表示されたら、ここでは[いいえ]をクリックします。

23 画面右上の ☒ をクリックして終了します。

ご参考

- 「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」に関しては、ユーリードシステムズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、メビウス電子マニュアルの「お問い合わせ一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。

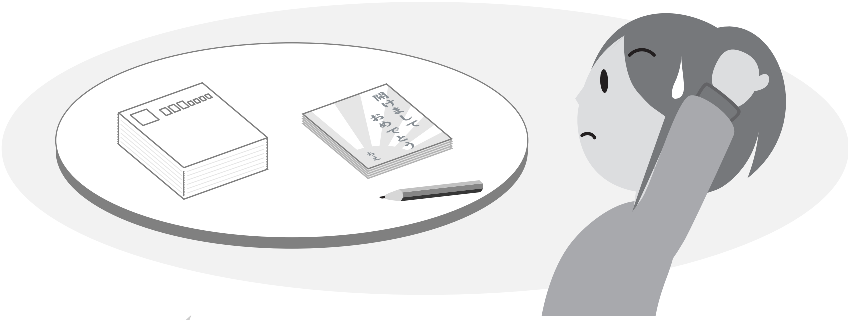
MEMO

GREETING CARD

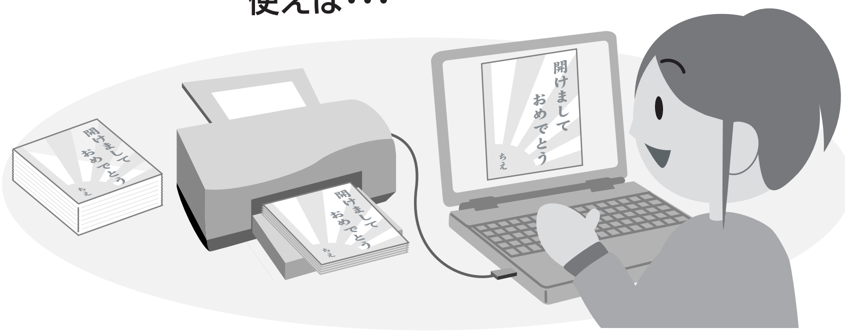
年賀状などのはがきを作る

市販のプリンターおよび「Microsoft はがきスタジオ Basic 平成17年版（以下は、「はがきスタジオ Basic」と記します。）」を使って、自分だけのオリジナル年賀状を作ることができます。

手で書くのは大変・・・



はがきスタジオ Basicを
使えば・・・

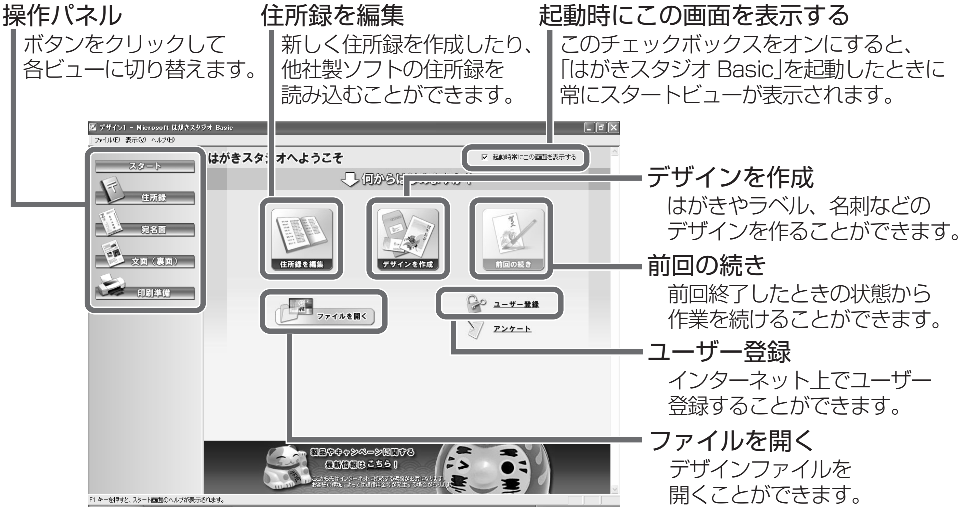


「はがきスタジオ Basic」の画面

「はがきスタジオ Basic」は、「ビュー」と呼ばれる5つの画面で構成されます。

スタートビュー

「はがきスタジオ　Basic」を起動すると、最初にスタートビューが表示されます。スタートビューとは、「はがきスタジオ Basic」の入り口です。この画面から、はがきをデザインしたり、住所録を編集します。「はがきスタジオ Basic」を初めて起動したときは、操作パネルには[スタート]だけが表示されます。



はがきを編集・印刷する4 つのビュー

作ったはがきを編集・印刷するには、以下の4 つのビューで行います。操作パネルのボタンをクリックして各ビューに切り替えます。

住所録ビュー

住所録の作成・編集を行います。



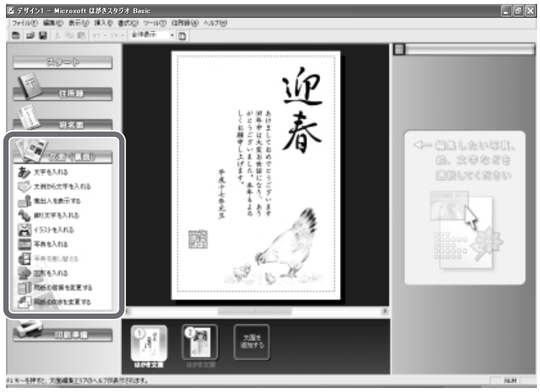
宛名面ビュー

宛名面の宛先、差出人の設定・編集を行います。



文面（裏面）ビュー

文面（裏面）のデザイン編集、イラストや文字の追加・修正などを行います。



印刷準備ビュー

作成したはがきの印刷エラーをチェックした後、印刷を行います。



年賀状を作る流れ

「はがきスタジオ Basic」ではがきのデザインを作り、印刷するまでの流れは以下のようになります。

STEP 1

はがきをデザインする

あらかじめ用意されたひな形のデザインを使って、お好みのデザインを作ります。(☞80ページ)

↓

STEP 2

差出人を登録する

ご自分の名前を差出人として登録します。(☞84ページ)
複数の差出人名を登録することができるので、友人用・仕事用と使い分けたり、ご家族の名前を登録したりできます。

↓

STEP 3

相手の宛先を登録する

住所録に宛先を登録します。住所録を作るには、次の2つの方法があります。

- ●新しく宛先の住所を入力する。(☞87ページ)
- ●以前のはがきスタジオの住所録ファイルを取り込んだり、Excelや他社製のはがき作成ソフトのデータを取り込むこともできます。

↓

STEP 4

はがきを印刷する

まず初めにテスト印刷を行い、うまく印刷できるかどうか確かめます。 (☞91 ページ)
テスト印刷が成功したら、デザインや宛先、差出人を指定して印刷します。 (☞96ページ)

年賀状の文面(裏面)を作る

まず、年賀状の文面(裏面)を作ってみましょう。

おすすめのデザインを使って文面を作る

年賀状のひな形デザインを使って、はがきの文面(裏面)をデザインしてみましょう。
ここでは、伝統的なデザインの年賀状を作る例を説明します。

1 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「Microsoft はがきスタジオ」－「Microsoft はがきスタジオ」をクリックします。

「はがきスタジオ Basic」が起動します。

ご参考

- 初めて起動したときは、使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容を読み、[同意する]をクリックすると起動します。

2 「デザインを作成」をクリックします。

スタートビューが表示されていないときは、操作パネルの「スタート」をクリックして表示させてください。



3 「イラスト年賀状」をクリックします。



4 「伝統的なデザイン」をクリックします。

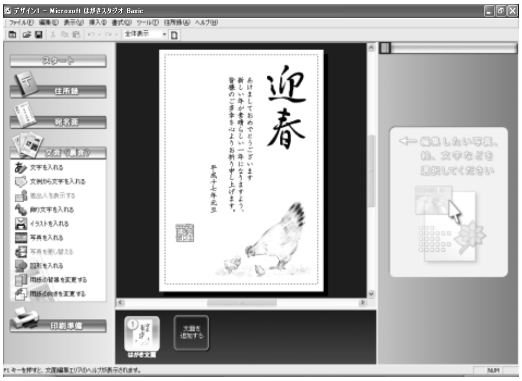


5 使いたいデザインをクリックして、「このデザインを使う」をクリックします。



6 メッセージが表示されたときは、追加する場合は[はい]をクリック、追加しない場合は[いいえ]をクリックします。

選択したデザインの文面(裏面)が表示されます。



文章を変える

あらかじめ入力されている文章の内容を少し変えてみましょう。

1 文章をクリックします。

テキストボックスが選択されます。

2 変更する文章をドラックして選択します。



テキストボックス

3 新しい文章を入力します。

選択した文字列が入力した文字列に置き換わります。



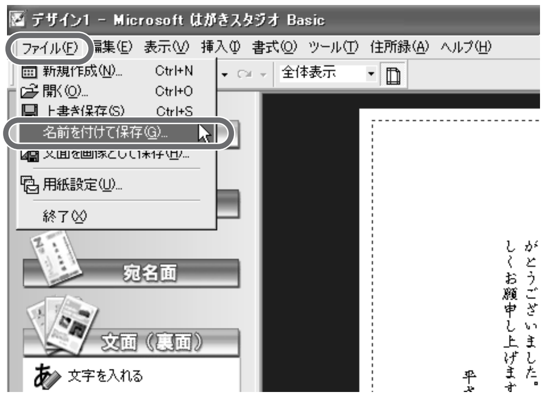
ご参考

- フォント、スタイル、大きさを変えることができます。文章を選択し、「文字の書式」作業ウィンドウの「書式」タブで変更したい項目をクリックします。

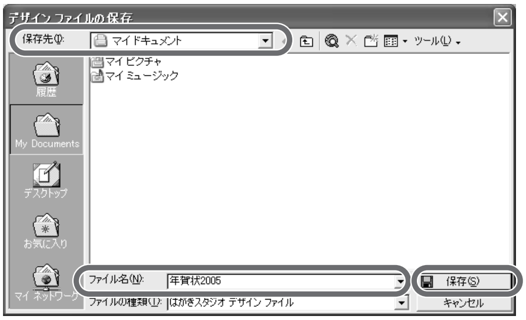
作ったはがきのデザインを保存する

文面（裏面）を作り終わったら、作ったはがきのデザインに名前を付けて保存しましょう。

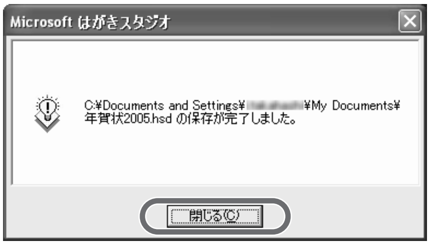
1 「ファイル」メニューをクリックし、「名前を付けて保存」をクリックします。



2 保存先を選択し、ファイル名を入力して、[保存]をクリックします。

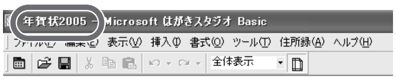


3 [閉じる]をクリックします。



ご参考

- 名前を付けて保存すると 上記の手順**2**で入力したファイル名が、はがきスタジオのタイトルバーに表示されます。



年賀状の宛名面を作る

自分(差出人)と送り先(宛先)の名前と住所を登録しましょう。

差出人を登録する

登録した差出人情報は、宛先を登録した後に表示されます。
差出人の情報は6 つ登録できます。ここでは、1に氏名と自宅住所、連名、2に氏名と勤務先住所、会社名、部署名を登録する例を説明します。

1 [宛名面]をクリックし、「差出人情報を入力する」をクリックします。



2 差出人[1]に自宅の情報を入力します。

① 差出人の氏名を入力します。姓と名の間にスペースを入れます。

② 郵便番号を入力します。
郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」ボックスに自動的に入力されます。
住所の番地を入力します。

③ 必要に応じて連名を入力します。

④ 必要に応じて「連絡先」タブをクリックして、自宅の電話番号やメールアドレスを入力します。



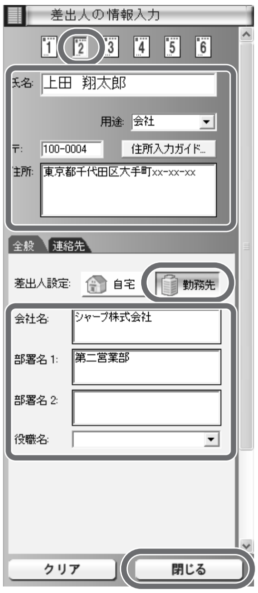


ご参考

- 差出人の氏名は必ず入力して、連名と名前の位置を揃えるため姓と名の間にスペースを入力してください。連名とは、差出人と一緒に並べて記載する名前（家族の名前など）のことです。
- ［クリア］をクリックすると、入力した情報をすべて削除します。

3 差出人 2 に勤務先の情報を入力します。

① 2 をクリックします。
② 差出人の氏名を入力します。姓と名の間にスペースを入れます。
③ 郵便番号を入力します。
郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」ボックスに自動的に入力されます。
住所の番地を入力します。
④ 用途を直接入力するか ▼ をクリックして目的の用途を選択します。
⑤ ［勤務先］をクリックします。
⑥ 差出人の会社名、部署名、役職名を入力します。
⑦ 必要に応じて「連絡先」タブをクリックして、勤務先の電話番号やメールアドレスを入力します。
⑧ ［閉じる］をクリックします。

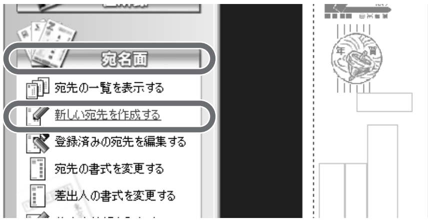


ご参考

- 差出人の氏名は必ず入力して、連名と名前の位置を揃えるため姓と名の間にスペースを入力してください。連名とは、差出人と一緒に並べて記載する名前（家族の名前など）のことです。
- [クリア]をクリックすると、入力した情報をすべて削除します。
- 「差出人設定」欄で自宅と勤務先の入力を切り替えることができます。1 つの差出人に自宅と勤務先両方の情報を入力した場合は、必ず[自宅]または[勤務先]をクリックし、表示したい差出人情報を設定してください。

宛先を登録する

1 [宛名面]をクリックし、「新しい宛先を作成する」をクリックします。

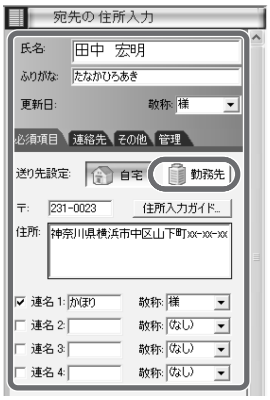


2 宛先にする人の情報を入力します。

① 宛先にする人の氏名を入力します。姓と名の間にスペースを入れます。
氏名を入力すると、ふりがなが自動的に入力されます。必要に応じて修正してください。

② 郵便番号を入力します。
郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」ボックスに自動的に入力されます。
住所の番地を入力します。

③ [勤務先]をクリックします。



④ 宛先にする人の会社名、部署名、役職名を入力します。
必要に応じて項目を入力してください。項目のチェックボックスをオン/オフして、表示する/しないを切り替えることができます。会社名を入力すると、ふりがなが自動的に入力されます。必要に応じて修正してください。

⑤ 郵便番号を入力します。
郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」ボックスに自動的に入力されます。住所の番地を入力します。

⑥ [自宅]をクリックします。
はがきの宛先が自宅になります。



ご参考

- 宛先にする人の氏名は必ず入力して、連名と名前の位置を揃えるため姓と名の間にスペースを入力してください。連名とは、一緒に並べて記載する名前(家族の名前など)のことです。
- [削除]をクリックすると、入力した情報をすべて削除します。
- 「送り先設定」欄で自宅と勤務先の入力を切り替えることができます。1 つの宛先に自宅と勤務先両方の情報を入力した場合は、必ず[自宅]または[勤務先]をクリックし、表示したい差出人情報を設定してください。

3 連絡先などの情報を必要に応じて入力します。

①「連絡先」タブをクリックします。

② 宛先にする人の自宅および勤務先の電話番号やメールアドレスなどを入力します。



③「その他」タブをクリックします。

④ 誕生日や血液型、備考などを入力します。



⑤ [新規作成]をクリックします。
宛先が登録されます。



⑥ 宛先の作成を終了するには、[閉じる]をクリックします。

ご参考

- [削除]をクリックすると、表示している宛先を削除します。
- 登録した宛先は、宛名面の「宛先の一覧を表示する」をクリックして確認できます。

はがきに印刷する

「はがきスタジオ Basic」には、はがきの宛名面と文面(裏面)を印刷できる「両面印刷」機能が用意されています。
はがきを印刷するには、使用しているパソコンにプリンターが接続されている必要があります。印刷を始める前に、プリンターが正しく接続されていることを確認してください。

はがきを印刷する流れは以下のようになります。

テスト印刷する
⇩
印刷する宛先、送付先、差出人を指定する
⇩
印刷時のエラーをチェックする
⇩
はがきを印刷する

テスト印刷する

宛名面をテスト印刷してみましょう。文面(裏面)も同じようにしてテスト印刷することができます。

1 [印刷準備]をクリックし、「宛名面を印刷する」をクリックして、テスト印刷する宛先をクリックして選択します。



ご参考

- 文面(裏面)をテスト印刷するときは、「文面(裏面)を印刷する」をクリックします。

2 「テスト印刷」タブをクリックし、[宛名面]をクリックします。



テスト印刷が始まります。

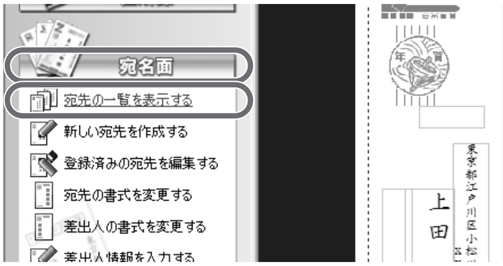
印刷位置を微調整するには

- 印刷位置がずれた場合は、微調整を行います。
  郵便番号の印刷位置を微調整するには、「テスト印刷」タブの「微調整する」の「郵便番号の印刷位置調整をします」をクリックします。「郵便番号の位置調整」ダイアログボックスで「縦位置」「横位置」の[▲][▼]をクリックして調整してください。
  はがき全体の印刷位置を微調整するには、「微調整する」の「全体の印刷位置調整をします」をクリックします。「デザインの位置調整」ダイアログボックスで「縦位置」「横位置」の[▲][▼]をクリックして調整してください。

印刷する宛先、文面(裏面)、送付先、差出人を指定する

宛先の一覧は、ウィンドウの右側に表示されます。

1 [宛名面]をクリックし、「宛先の一覧を表示する」をクリックします。



2 「検索」欄にふりがなを入力して、必要な宛先を検索します。
一覧に検索した宛先が表示されます。

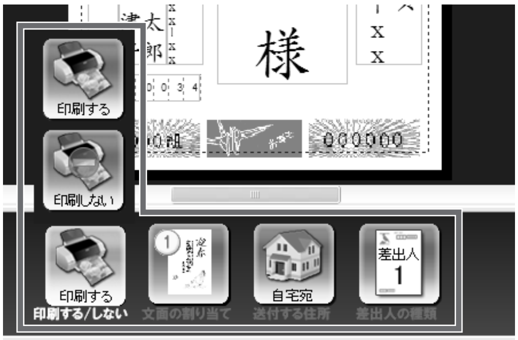


ご参考

- インデックスで宛先を一覧表示することができます。
  あをクリックすると、宛先の名前の読みが「あ行」で始まる人だけが一覧に表示されます。
  全をクリックすると、すべての宛先が表示されます。

3 印刷する宛先、文面(裏面)、送付先、差出人を指定します。

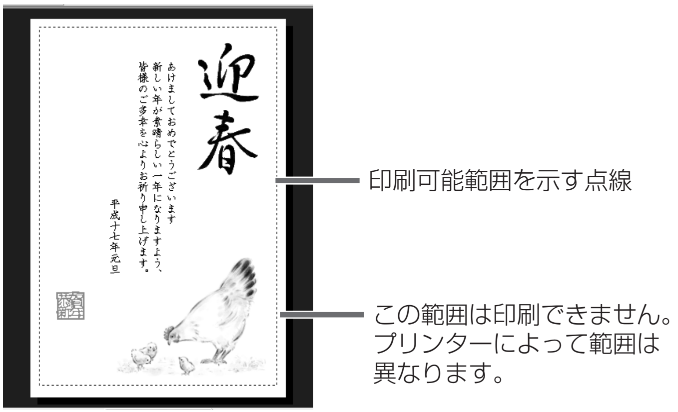
① 指定する宛先を選択してクリックします。
② [印刷する/しない]をクリックし、「印刷する」「印刷しない」を選択してクリックします。
③ [文書の割り当て]をクリックし、宛先に割り当てる文面を選択してクリックします。
両面印刷するときは必ず指定してください。
④ [送付する住所]をクリックし、[自宅][勤務先]を選択してクリックします。
⑤ [差出人の種類]をクリックし、1～6(登録されている差出人の番号が表示されます。)を選択してクリックします。



印刷する情報が登録されます。

はがきの印刷可能範囲

作成した宛名面や文面（裏面）を印刷する場合、宛名面や文面（裏面）に点線で示される印刷可能範囲のみがはがきに印刷されます。範囲の外側に表示されている部分は印刷されません。この印刷可能範囲は、使用しているプリンターによって変わります。したがって、「はがきスタジオ Basic」でこの印刷可能範囲のサイズを変更することはできません。



ふちなし印刷について

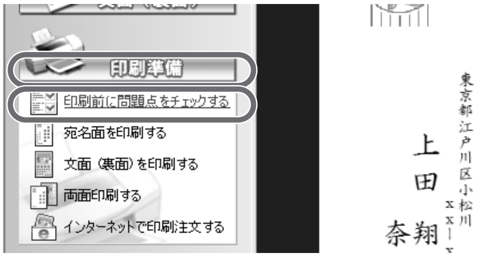
お使いのプリンターがふちなし印刷に対応している場合は、プリンターの設定を変えると、印刷可能範囲を文面（裏面）いっぱいまで広げることができます。設定方法の詳細については、プリンターに付属しているマニュアルを参照してください。
キヤノン製またはエプソン製ふちなし印刷対応プリンターを標準のプリンターとして設定してある場合は、「はがきスタジオ Basic」が自動でふちなしの設定を行うため、特別な操作は必要ありません。宛名面を印刷する場合は、「はがきスタジオ Basic」の起動時に自動的にふちなし設定が読み込まれていると郵便番号などの位置がずれることがあります。ふちなし設定をオフにしてから「はがきスタジオ Basic」を起動し、宛名面を印刷してください。

印刷時のエラーをチェックする

印刷を行う前に、印刷時のエラーがないか確認します。

1 [印刷準備]をクリックし、「印刷前に問題点をチェックする」をクリックします。

宛先の絞り込みを設定している場合は、宛先の絞り込みの解除メッセージを確認し、[はい]をクリックしてください。



エラーが検出された場合は、「印刷エラーチェック」画面が表示されます。
エラーが見つかった宛先には、（エラーアイコン）が表示されます。



ご参考

- エラーがなかった場合は、「エラーはありません。印刷が行えます。」とメッセージが表示されます。[OK]をクリックしてください。

2 検出されたエラーを修正します。

① ＋をクリックし－にして、修正するエラーメッセージをクリックします。
エラーが発生している編集エリアに切り替わります。

② エラーメッセージに従い、エラー内容を修正します。

③ [閉じる]をクリックします。
未修正のエラー項目があった場合、確認のメッセージが表示されます。エラーチェックを終了するときは[はい]をクリックします。



ご参考

- エラーメッセージが表示されていても、問題のない場合(たとえば、印刷可能範囲からはみ出ている図が透明の部分である場合など)もあります。

はがきに印刷する

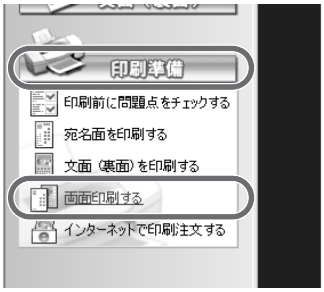
はがきを印刷する方法は、次の3通りあります。それぞれテスト印刷して確認することができます。テスト印刷は、選択した宛名面または文面(裏面)の最初の1 枚を印刷します。(テスト印刷する☞91ページ)

- 両面印刷する　:宛名面を印刷した後、指定した文面(裏面)を印刷します。
- 宛名面を印刷する　:選択した宛先またはすべての宛先を印刷します。
- 文面(裏面)を印刷する　:指定した文面(裏面)を、枚数を指定して印刷します。

ここでは、両面印刷を行います。両面印刷は、宛名面を印刷した後、続けて指定した文面(裏面)を印刷します。

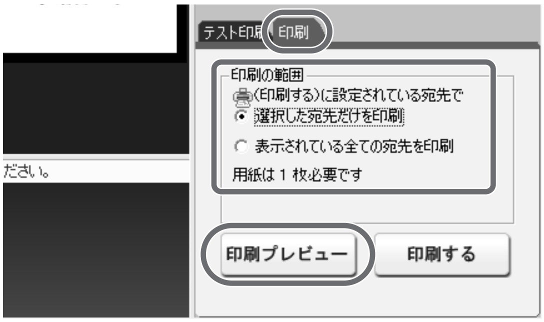
1 印刷方法を選択して、印刷する宛名面、文面(裏面)を確認します。

① [印刷準備]をクリックし、「両面印刷する」をクリックします。

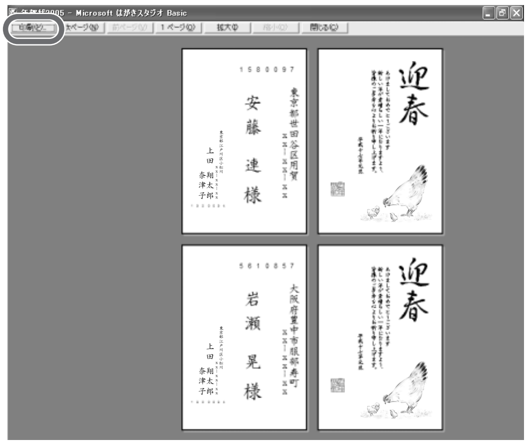


② 「印刷」タブをクリックし、印刷する範囲をクリックしてチェックマークを付けます。

③ [印刷プレビュー]をクリックします。



④ 印刷イメージを確認して、[印刷]をクリックします。



ご参考

- 印刷プレビューには宛先の一覧でチェックマークを付けた宛先と文面(裏面)がプレビュー表示されます。

2 使用するプリンターを選択して、送付情報の履歴を更新します。

① 印刷に使用するプリンターを選択します。

② 送付情報の履歴を更新する/しないを設定します。

③ [印刷]をクリックします。



ご参考

- 送付情報の履歴を「更新する」に選択した場合は、更新する年を確認してください。
- 履歴を更新できるのは、はがきの種類が「年賀はがき」または「かもめーる」の場合だけです。

3 宛名面を印刷します。

① 両面印刷ガイドの指示に従って、はがきの宛名面をプリンターにセットします。

② [印刷]をクリックします。



宛名面の印刷が開始されます。

プリンターで宛名面の印刷が終わったことを確認してから、次の手順に進んでください。

紙詰まりなどが起きたときは

- 印刷中に紙詰まりやインク切れなどを起こしてしまった場合は、お使いのプリンターの説明書を参照して、適切な処置を行ってください。

4 文面(裏面)を印刷します。

① 両面印刷ガイドの指示に従って、はがきの文面(裏面)をプリンターにセットします。
② [印刷]をクリックします。



文面(裏面)の印刷が開始されます。

画面の色と出力された色が違うときは

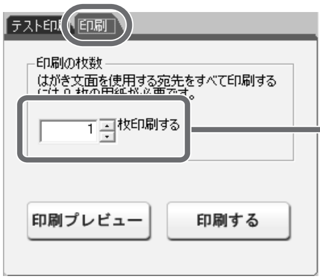
- まれに、宛名面の文字がグレーになるなど、画面上で指定した色と出力された色が異なることがあります。そのような場合は、お使いのプリンターのプリンタードライバーの設定をご確認ください。

宛名面だけを印刷するには

97ページの手順**1**の①で「宛名面を印刷する」をクリックします。「宛名面の印刷」作業ウィンドウで「印刷」タブをクリックし、印刷対象を指定します。[印刷する]をクリックします。

文面(裏面)だけを印刷するには

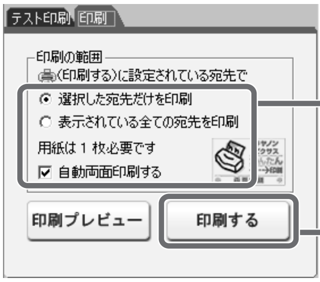
97ページの手順**1**の①で「文面(裏面)を印刷する」をクリックします。「文面(裏面)の印刷」作業ウィンドウで「印刷」タブをクリックし、印刷枚数を指定します。[印刷する]をクリックします。



印刷枚数を指定します。

自動両面印刷対応のプリンターで印刷するには

自動両面印刷対応のプリンターで両面印刷する場合は、自動両面印刷の設定を行います。



印刷範囲を指定した後、「自動両面印刷する」項目のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。

［印刷する］をクリックします。

「はがきスタジオ Basic」を終了する

画面右上の ☒ をクリックします。

ご参考

- ☒ をクリックしたときに、作業した内容が保存されていなかったときは、メッセージが表示されます。作業した内容を保存する場合は、[はい]をクリックします。作業した内容を保存しない場合は、[いいえ]をクリックします。終了を中止して「はがきスタジオ Basic」の作業に戻る場合は、[キャンセル]をクリックします。
- 「はがきスタジオ Basic」に関しては、マイクロソフト株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、メビウス電子マニュアルの「お問い合わせ先一覧」(☞20ページ)でご覧いただくか、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。

パソコンのデータを保存しよう



パソコンのデータを、CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAM などのディスクに書き込む方法を紹介しています。

データ書き込みアプリケーションソフトと対応するディスクについて

データ書き込みアプリケーションソフトと使用可能なディスクの組み合わせは、次のようになります。

DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層書込対応)搭載モデルの場合

	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R 1層	DVD+R 2層	DVD+RW	DVD-RAM
Drag'n Drop CD+DVD4	○	○	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	×
エクスプローラ	—	—	—	—	—	—	—	○※2

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデルの場合

	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R 1層	DVD+RW	DVD-RAM
Drag'n Drop CD+DVD4	○	○	○※1	○※1	○※1	○※1	×
エクスプローラ	—	—	—	—	—	—	○※2

DVDマルチドライブ搭載モデルの場合

	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD-RAM
Drag'n Drop CD+DVD4	○	○	○※1	○※1	×
エクスプローラ	—	—	—	—	○※2

CD-R/RW＆DVD-ROMドライブ搭載モデルの場合

	CD-R	CD-RW
Drag'n Drop CD+DVD4	○	○

※1 DVDビデオの作成や音楽情報の書き込みはできません。

※2 DVD-RAMドライブに対応していますので、ハードディスクやフロッピーディスクに保存する場合と同じ要領でDVD-RAMにデータを保存できます。

CD-R/RWについて

下記は、ディスクについての概略です。
CD-R/RWには、保存したデータの書き換えができるタイプとできないタイプがあります。

データの書き換えができないタイプ	データの書き換えができるタイプ
 約700MBでフロッピーディスク約500枚分のデータ保存が可能。データのバックアップやオリジナル音楽CDの作成に向いている。	 データの保存容量はCD-Rと同じ。一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる（約1000回）。書き込む速度はCD-Rよりも少し遅くなる。

※　ディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、音楽CDを作成したときは、ディスクが閉じられるためデータを追加して書き込むことはできません。

複数の音楽CDを1枚の音楽CDにまとめる方法については、**オリジナル音楽CDを作る**（☞38ページ）を参照してください。

ご参考

- 動作確認済みのCD-RまたはCD-RWについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。
- ビデオCDを作成するときは、「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使います。

DVD-R/RW、DVD+R/RWについて

下記は、ディスクについての概略です。
DVD-R/RW、DVD+R/RWには、保存したデータの書き換えができるタイプとできないタイプがあります。

データの書き換えができないタイプ※1、※2		データの書き換えができるタイプ※1、※2、※3	
  ※4	データのバックアップやDVDビデオの作成に向いている。DVD-Rは市販のDVDプレーヤーで再生できるなど、互換性が高い。	 	DVD-Rの特性に加え、一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる（約1000回）。

※1 DVD-R/RWおよびDVD+R/RWへのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなる場合があります。
※2 ディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。
※3 旧機種のDVDプレーヤー、DVD-ROMドライブで再生できない(互換性がない)場合があります。
※4 DVD+R(2層)もありますが、CD/DVDドライブおよびアプリケーションソフトウェアが2層書込対応している必要があります。

ご参考

- 動作確認済みのDVD-R/RWまたはDVD+R/RWについては、**取扱説明書**(別冊)を参照してください。
- DVDビデオを作成するときは、「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使います。

DVD-RAMについて

下記は、ディスクについての概略です。
DVD-RAMは、データの書き込み、追記、消去ができます。DVD-RAMにはカートリッジ式と非カートリッジ式があります。

非カートリッジ式 ※2、※3

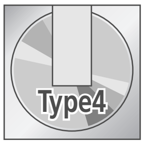


片面約4.7GBのデータ保存が可能

カートリッジ式 ※1、※2、※3



片面約4.7GBのデータ保存が可能



片面約4.7GB、両面約9.4GBのデータ保存が可能※4

※1 お使いのパソコンでカートリッジ式のDVD-RAMを使用するときはType2、またはType4(カートリッジからDVD-RAMが取り出せるタイプ)を使用し、カートリッジからDVD-RAMを取り出して、CD/DVDドライブにセットしてください。
※2 DVD-RAMへのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなります。
※3 DVD-RAMに書き込む場合は、DVD-RAM Ver.2.0またはVer.2.1に準拠したディスクをご使用ください。
※4 お使いのパソコンでは、両面を同時に使用することができません。ディスクの両面にデータを書き込む場合は、片面の書き込み終了後にDVD-RAMを取り出し、裏返してから再度ドライブにセットし、データを書き込んでください。

使用できないDVD-RAMのタイプ

- 8cmのDVD-RAM
- 片面2.6GBのDVD-RAM
- 両面5.2GBのDVD-RAM
- Type1（カートリッジから取り出せないタイプ）のDVD-RAM

ご参考

- 動作確認済みのDVD-RAMについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。
- DVDビデオを作成するときは、「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」を使います。

書き込みに失敗しないために

書き込みが途中で不意に止まったりすることを避けるために、書き込みの操作をする前に、次の準備をしてください。

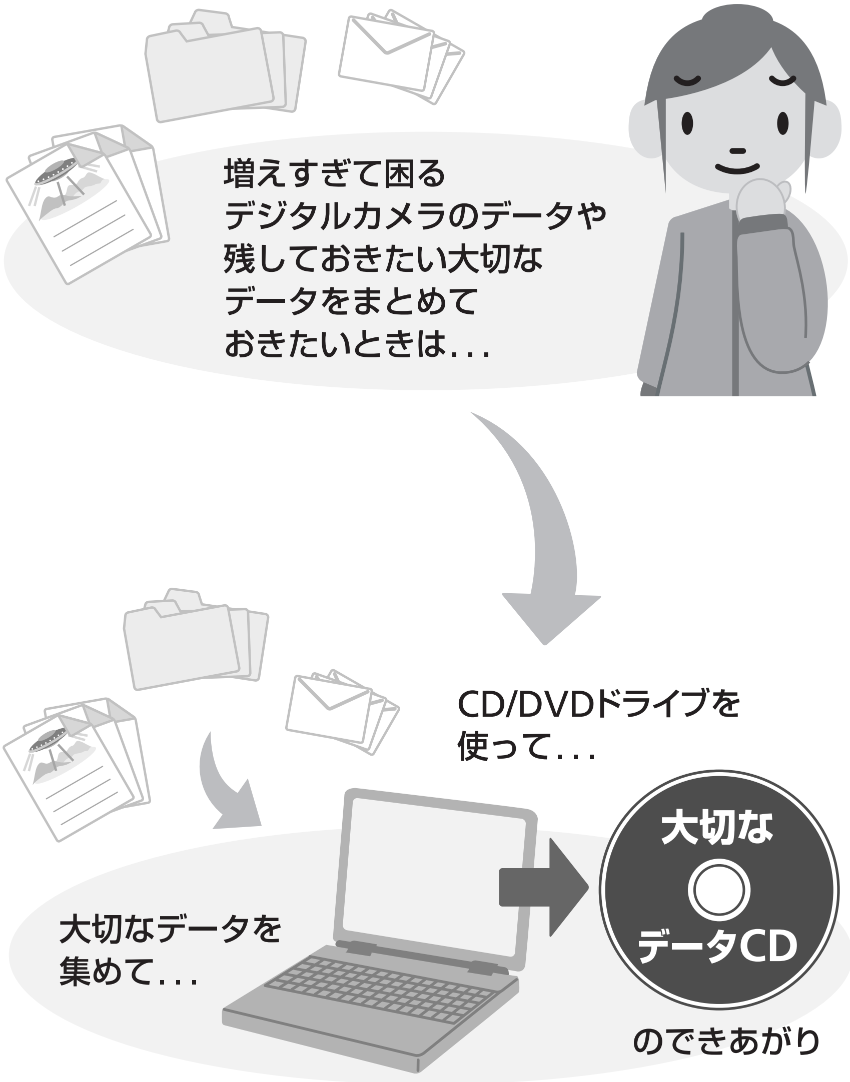
- ACアダプターを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
  ただし、画面右下のタスクバーに （Power（AC Mode））が表示されている機種については、**取扱説明書**（別冊）の**消費電力を節約する**を参照してください。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- ワイヤレスLANが搭載されている場合、ワイヤレスLANを「無効」にする。

ご注意

- 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

CD-R/RWにデータを書き込む

内蔵のCD/DVDドライブを使って、増える一方の画像データや残しておきたいデータをCD-RまたはCD-RWに保存することができます。



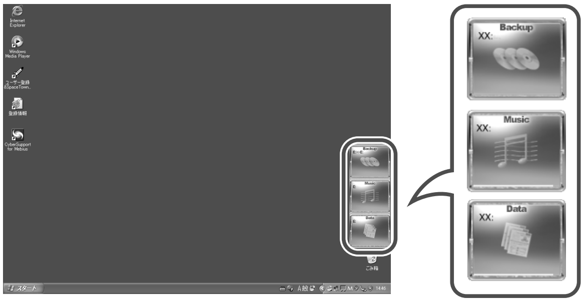
CD-RまたはCD-RWにデータを書き込む

「Drag’n Drop CD+DVD4」を使用して、CD-RまたはCD-RWにデータを書き込みます。

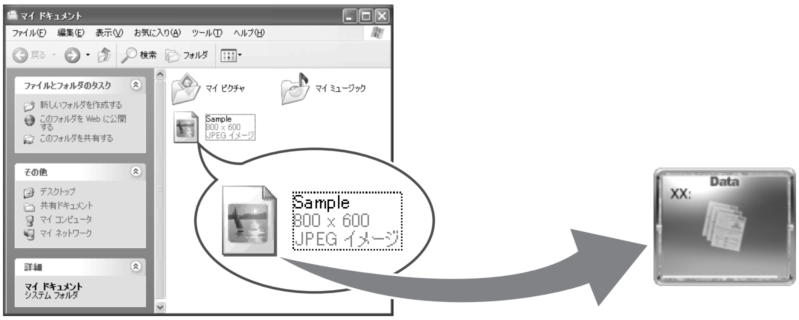
1 新しいCD-Rまたはデータが書き込まれていないCD-RWをCD/DVDドライブにセットします。

2 「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

3 デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「Data」の3つのボックスが表示されていることを確認します。デスクトップ上にボックスが表示されていない場合は、「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Drag’n Drop CD+DVD4」ー「Drag’n Drop CD+DVD4」をクリックします。



4 保存したいファイルまたはフォルダを「Data」ボックスにドラッグ&ドロップ（アイコンをクリックし、左ボタンを押したままアイコンを目的の場所に移動して左ボタンを離す）します。



複数のファイルやフォルダを書き込む場合は、この操作を繰り返します。

ご注意

- 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。
- CD-RWは書き込んだデータを消去して、もう一度データを書き込むことができますが、CD-Rは一度書き込んだデータを消去することはできませんので十分ご注意ください。
- 「Drag'n Drop CD+DVD4」の「Backup」では、元のディスクと異なった種類のディスクには書き込むことができません。元のディスクと同じ種類のディスクをご使用ください。

ご参考

- ドラッグ&ドロップしたファイルやフォルダを確認するには、「Data」ボックスをダブルクリックして「Data Layout Window」を表示します。「Data Layout Window」での操作については、「Drag'n Drop CD+DVD4」のヘルプを参照してください。

5 「Data」ボックスの  をクリックします。

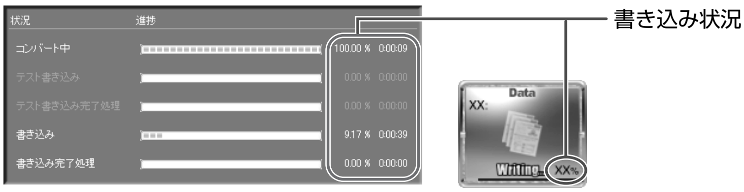
「書き込み速度の選択」画面が表示されます。



6 「書き込み速度」欄で「Max」が選択されているか確認し、[OK]をクリックします。



書き込みが開始されます。
書き込み状況が%で表示されます。



書き込みが終了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD/DVDドライブからCD-RまたはCD-RWを取り出してください。

7 [閉じる]をクリックします。

終了するときは

画面右下のタスクバーの (Drag'n Drop CD+DVD4)を右クリックして、[終了]をクリックします。

「Drag'n Drop CD+DVD4」が終了します。

ご参考

- 「Drag'n Drop CD+DVD4」に関しては、イージーシステムズジャパン株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、メビウス電子マニュアルの「お問い合わせ先一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。
- Windows XPに標準のCD書き込み機能を使って、CD-RおよびCD-RWにデータを書き込むこともできます。詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。
  DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層書込対応)／DVDスーパーマルチドライブ／DVDマルチドライブ搭載モデルでは、Windows XPに標準のCD書き込み機能は無効に設定されています。有効に設定してください。(☞119ページ)

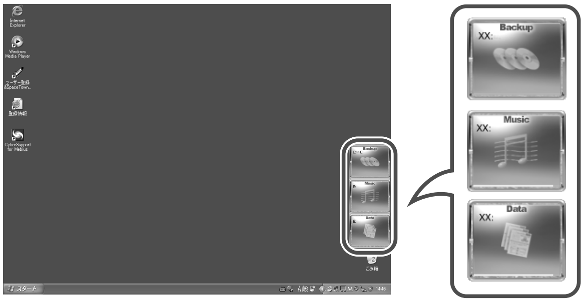
CD-RWのデータを消去する

CD-RWに書き込まれているデータを消去する場合は、以下の手順に従ってください。

1 CD-RWをCD/DVDドライブにセットします。

「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示されたとき、または、WinDVDが起動したときなどは、画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じてください。

2 デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「Data」の3つのボックスが表示されていることを確認します。デスクトップ上にボックスが表示されていない場合は、「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」—「Drag'n Drop CD+DVD4」—「Drag'n Drop CD+DVD4」をクリックします。



3 「Backup」、「Music」、「Data」のいずれかのボックスの上で右クリックし、「RWディスクの消去」をクリックします。

「RWディスクの消去」画面が表示されます。

4 「クイック消去」または「全消去」を選択し、[開始]をクリックします。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックします。

確認画面が表示されます。

6 [はい]をクリックします。

データの消去が開始されます。

データの消去が完了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きます。

7 CD/DVDドライブからディスクを取り出し、[OK]をクリックします。

8 [閉じる]をクリックします。

終了するときは

画面右下のタスクバーの  (Drag’n Drop CD+DVD4)を右クリックして、[終了]をクリックします。

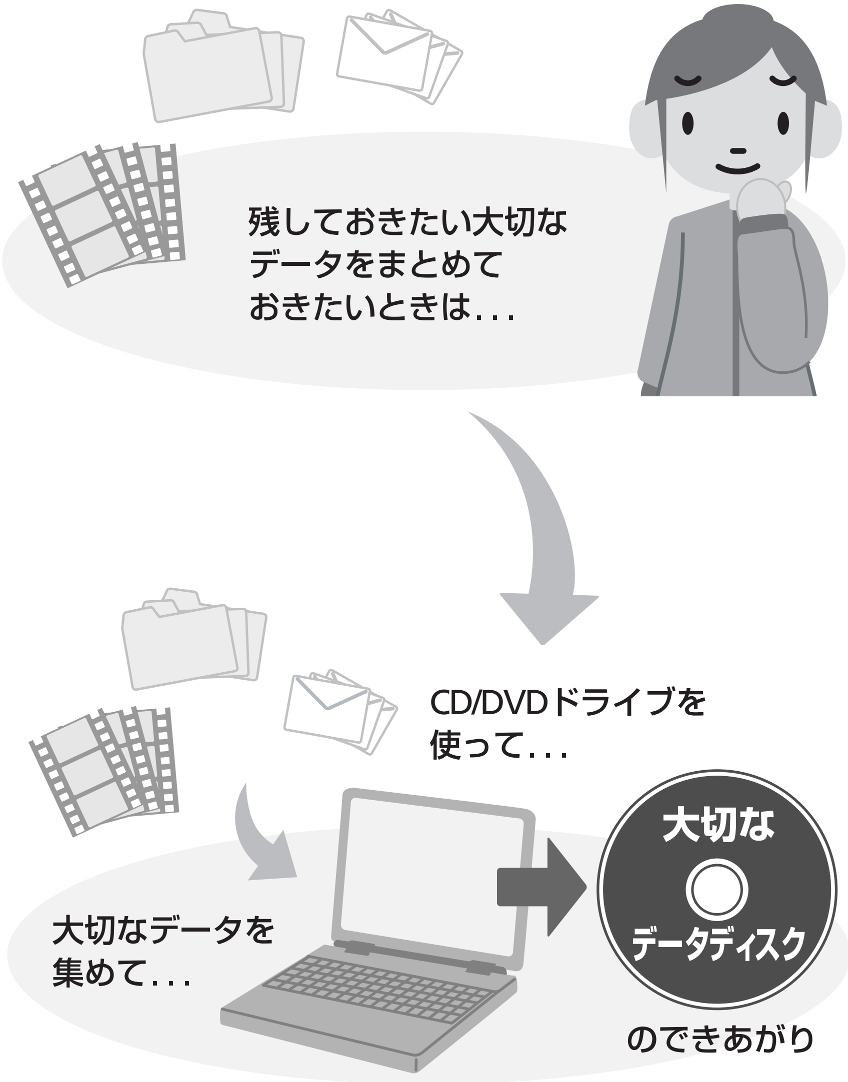
「Drag’n Drop CD+DVD4」が終了します。

MEMO

DVD-R/RW、DVD+R/RWにデータを書き込む

DVD-R/RW
DVD+R/RW

DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層書込対応）搭載モデル、DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル、DVDマルチドライブ搭載モデル、DVD±R/RWドライブ搭載モデルでは、内蔵のCD/DVDドライブを使って、増える一方の画像データや残しておきたいデータを、DVD-R/RWやDVD+R/RWに保存することができます。



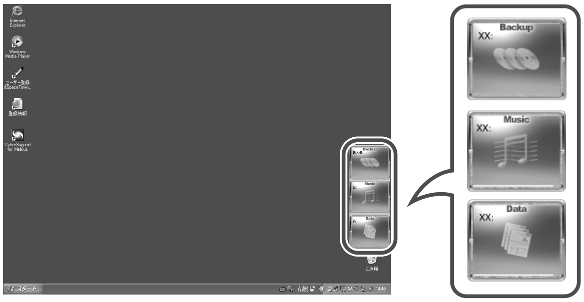
DVD-R/RWまたはDVD+R/RWにデータを書き込む

「Drag'n Drop CD+DVD4」を使用して、DVD-R/RWまたはDVD+R/RWにデータを書き込みます。

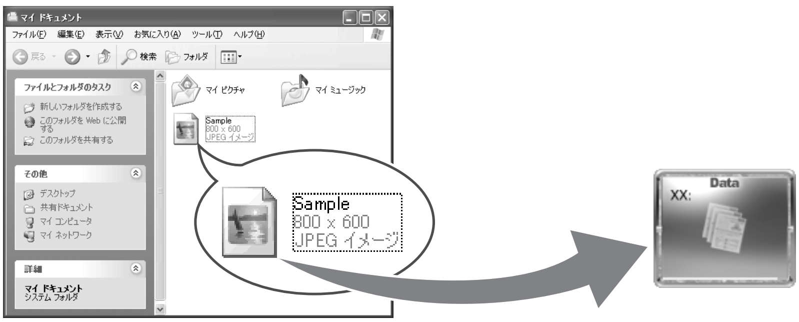
1 新しいDVD-R/DVD+Rまたはデータが書き込まれていないDVD-RW/DVD+RWをCD/DVDドライブにセットします。

2 「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

3 デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「Data」の3つのボックスが表示されていることを確認します。デスクトップ上にボックスが表示されていない場合は、「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Drag'n Drop CD+DVD4」ー「Drag'n Drop CD+DVD4」をクリックします。



4 保存したいファイルまたはフォルダを「Data」ボックスにドラッグ&ドロップ(アイコンをクリックし、左ボタンを押したままアイコンを目的の場所に移動して左ボタンを離す)します。



複数のファイルやフォルダを書き込む場合は、この操作を繰り返します。

ご注意

- DVD-R/RWおよびDVD+R/RWに、データを追加して書き込むときは、「Drag'n Drop CD+DVD4」のヘルプをご覧のうえ、追記してください。
- DVD-RWやDVD+RWは書き込んだデータを消去して、もう一度データを書き込むことができますが、DVD-RやDVD+Rは一度書き込んだデータを消去することはできませんので十分ご注意ください。
- 「Drag'n Drop CD+DVD4」の「Backup」では、元のディスクと異なった種類のディスクには書き込むことができません。元のディスクと同じ種類のディスクをご使用ください。

ご参考

- ドラッグ&ドロップしたファイルやフォルダを確認するには、「Data」ボックスをダブルクリックして「Data Layout Window」を表示します。「Data Layout Window」での操作については、「Drag'n Drop CD+DVD4」のヘルプを参照してください。

5 「Data」ボックスの をクリックします。

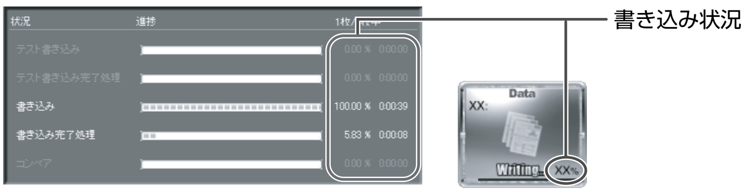
「書き込み速度の選択」画面が表示されます。



6 「書き込み速度」欄で「Max」が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。



書き込みが開始されます。
書き込み状況が%で表示されます。



書き込みが終了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD/DVDドライブからDVD-R/RWまたはDVD+R/RWを取り出してください。

7 [閉じる]をクリックします。

終了するときは

画面右下のタスクバーの (Drag'n Drop CD+DVD4)を右クリックして、[終了]をクリックします。

「Drag'n Drop CD+DVD4」が終了します。

ご参考

- 「Drag'n Drop CD+DVD」に関しては、イージーシステムズジャパン株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、メビウス電子マニュアルの「お問い合わせ先一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。

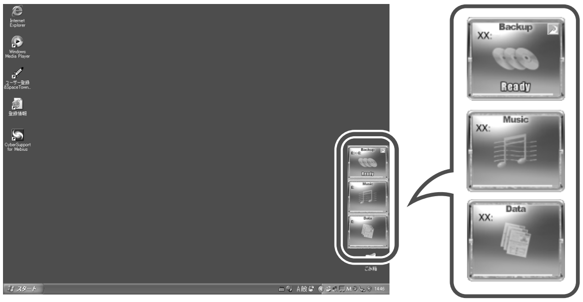
DVD-RWまたはDVD+RWのデータを消去する

DVD-RWやDVD+RWに書き込まれているデータを消去する場合は、以下の手順に従ってください。

1 DVD-RWまたはDVD+RWをCD/DVDドライブにセットします。

「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたとき、または、「WinDVD」が起動したときなどは、画面右上の をクリックして画面を閉じてください。

2 デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「Data」の3つのボックスが表示されていることを確認します。デスクトップ上にボックスが表示されていない場合は、「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Drag'n Drop CD+DVD4」ー「Drag'n Drop CD+DVD4」をクリックします。



3 「Backup」、「Music」、「Data」のいずれかのボックスの上で右クリックし、「RWディスクの消去」をクリックします。

「RWディスクの消去」画面が表示されます。

4 「クイック消去」または「全消去」を選択し、[開始]をクリックします。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックします。

確認画面が表示されます。

6 [はい]をクリックします。

データの消去が開始されます。
データの消去が完了すると、自動的にCD/DVDドライブが開きます。

7 CD/DVDドライブからディスクを取り出し、[OK]をクリックします。

8 [閉じる]をクリックします。

終了するときは

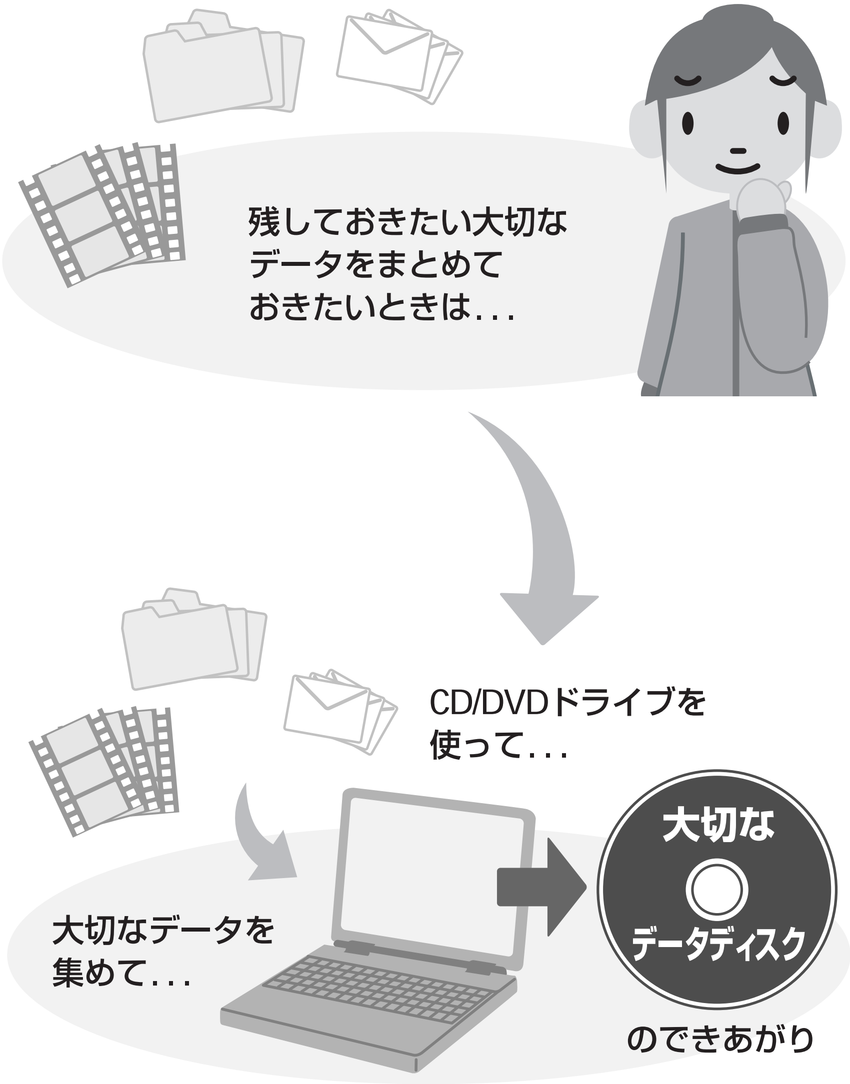
画面右下のタスクバーの （Drag'n Drop CD+DVD4）を右クリックして、[終了]をクリックします。

「Drag'n Drop CD+DVD4」が終了します。

MEMO

DVD-RAMにデータを書き込む

DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層書込対応)搭載モデル、DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル、DVDマルチドライブ搭載モデルでは、内蔵のCD/DVDドライブを使って、増える一方の画像データや残しておきたいデータをDVD-RAMに保存することができます。



DVD-RAMにデータを保存する

DVD-RAMにデータを保存するときは、WindowsのCD書き込み機能を無効にしたあと、ハードディスクやフロッピーディスクにデータを保存する場合と同じ要領でDVD-RAMにデータを保存します。

ご参考

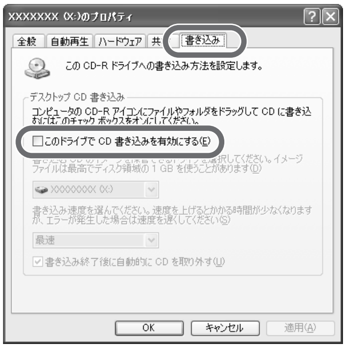
- DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層書込対応）、DVDスーパーマルチドライブ、DVDマルチドライブ搭載モデルでは、ご購入時にWindowsのCD書き込み機能は無効に設定されています。

WindowsのCD書き込み機能を無効にする

1 ［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。

2 「DVD-RAMドライブ（X:）」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3 「書き込み」タブをクリックし、「このドライブでCD書き込みを有効にする」をクリックしてチェックマークを外します。



4 ［OK］をクリックします。

5 画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。

ご参考

- 次の操作をするときは、手順**3**で「このドライブでCD書き込みを有効にする」にチェックマークを付けておく必要があります。
  - ・WindowsのCD書き込み機能を使って、CD-RおよびCD-RWにデータを書き込むとき
  - ・WindowsのCD書き込み機能を使って、CD-RWのデータを消去するとき

DVD-RAMをフォーマットする

DVD-RAMは、以下の手順に従ってフォーマットしてください。

1 新しいDVD-RAMをCD/DVDドライブにセットします。

2 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。

3 「CDドライブ(X:)」アイコンを右クリックし、「フォーマット」をクリックします。

4 書き込むデータの機種や書き込み後のディスクを使用する機器に応じてフォーマット種別を選択します。

- ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.0)
  UDF2.0でフォーマットすると、Windows XP／2000が搭載されているパソコンでデータを読み出すことができます。
  DVD-VR形式に対応し、DVDビデオレコーダーとの互換性があります。
  「Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE」で映像を書き込み、DVDビデオレコーダーで再生するためのDVD-RAMを作成する場合は、このフォーマットを選択します。
- ユニバーサルディスクフォーマット(UDF1.5)
  UDF1.5でフォーマットすると、Windows XP／2000が搭載されているパソコンでデータを読み出すことができます。
- FAT32
  FAT32でフォーマットすると、Windows XP／2000／Me／98が搭載されているパソコンでデータを読み出すことができます。

5 ボリュームラベル名を入力します。

6 [開始]をクリックします。
確認の画面が表示されます。

7 [はい]をクリックします。
フォーマットが始まります。

8 「フォーマットが終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

9 [閉じる]をクリックします。

10 画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。

ご参考

- 両面ディスクの場合は、裏返して両面をフォーマットしてください。

パソコンを管理しよう



パソコンを使用する上で、知っておくと有効な方法や、トラブルを防ぐ方法を紹介しています。

古いパソコンのデータをこのパソコンに引越しする

MOVEMENT DATA

「安心楽々引越しパック」を使って、古いパソコンのデータをこのパソコンに引越しすることができます。トラックCDを作成してディスクを経由して引越したり、またファイルやネットワーク経由で引越しすることもできます。



引越しの手順を確認する

1 荷造りの準備

このパソコンで引越し元のパソコンの荷造りを行うために必要なトラックCDやファイルを作成します。

2 引越しデータの荷造り

引越し元のパソコンで作成したトラックCD、または荷造り用のファイルを使用して各種のデータを荷造りします。

3 引越しデータの荷解き

データを書き込んだトラックCD、またはフォルダに荷造りしたデータを、このパソコンで配置(リカバリ)します。

ご参考

- ご利用になる引越し元および引越し先の2台のパソコンそれぞれがネットワークで接続されており、互いにアクセス可能な共有フォルダが設定されている場合には、ファイルのコピーをせずに引越しができます。
- 「トラックCD」とは引越すデータを「荷造り」するためのCDです。このCDの中には大切なデータのほかに荷造り用のソフトウェアと荷解き用のソフトウェアが自動的に書き込まれます。また、それぞれに書き込まれたソフトウェアはトラックCDをCD/DVDドライブにセットすると自動的に起動します。

ご注意

- 「安心楽々引越しパック」は、「Drag'n Drop CD+DVD4」のエンジンを使用していますので、「Drag'n Drop CD+DVD4」をアンインストールすると「安心楽々引越しパック」もアンインストールされます。
- 必ずコンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。制限付きアカウントでログオンすると、正しく引越しできなくなります。

引越し可能なデータ

古いパソコン(引越し元)の次のデータや設定をこのパソコンに引越しすることができます。

- マイドキュメント
- お気に入り
- Cookies
- Microsoft IMEユーザー辞書
- ダイヤルアップの設定
- デスクトップ
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Officeユーザーテンプレート
- Microsoft Outlook

ただし、古いパソコン(引越し元)の環境や使用状況によって引越しできないデータがありますので、詳しくは安心楽々引越しパックのヘルプを参照してください。

安心楽々引越しパックのヘルプを表示するには

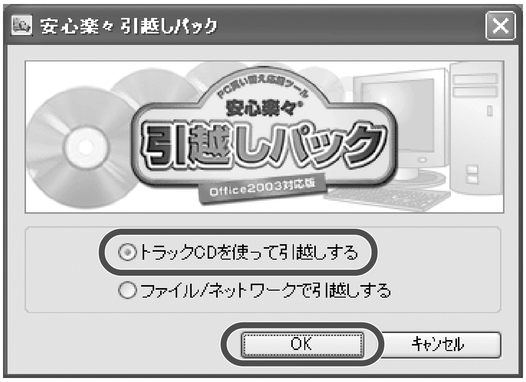
- [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「安心楽々引越しパック」-「安心楽々引越しパックのヘルプ」をクリックします。

トラックCDを作成する

ここでは、トラックCDを作成してディスク経由で引越しする方法について説明します。

1 このパソコンの[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「安心楽々引越しパック」－「安心楽々引越しパック」をクリックします。

2 「トラックCDを使って引越しする」を選択して[OK]ボタンをクリックします。



3 メッセージが表示されますので、新しいCD-R/RWをCD/DVDドライブに挿入し、[OK]ボタンをクリックします。



4 「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

5 書き込み速度の選択画面が表示されたときは、「Max」が選択されているか確認し、[OK]をクリックします。

引越し作業に必要なソフトウェアが自動的に書き込まれます。

6 書き込みが終了すると自動的にCD/DVDドライブが開きますので、CD-R/RWを取り出します。

7 トラックCDが完成した旨のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

8 「Writing Status Infomation Window」画面が表示されている場合は、[閉じる]をクリックします。

以上でトラックCDの作成は終了です。

ご参考

- トラックCDには必ず新しいCD-RかCD-RWをご使用ください。
- 完成したトラックCDに他のデータを書き込まないでください。
- 完成したトラックCDをクローズしないでください。
- 他のCDと混同しないように、CDラベル面に「引越し用トラックCD」と明記されることをおすすめします。

引越しデータを荷造りする

引越しの準備をする

古いパソコン(引越し元)を次のように準備してください。

- 「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

引越しの荷造りをする

1 トラックCDを古いパソコンのCD/DVD ドライブにセットします。

引越しの荷造り開始のメッセージが表示されます。

2 [OK]をクリックします。

荷造り用のソフトウェアが起動します。

Drag'n Drop CD+DVDが古いパソコンにインストールされていない場合

- 自動的に「Drag'n Drop CD+DVD安心楽々引越パック限定版」のインストールを開始します。インストールが無事に終了するとパソコンが自動的に再起動し、再起動後荷造り用のソフトウェアが自動的に起動します。

3 ダンボールの形をしたウィンドウが表示されます。画面に表示される指示に従って、引越しの荷造りをします。

「パスワード登録」画面では、必ずパスワードとパスワードのヒントを入力してください。入力したパスワードは、荷解きのときに必要ですので忘れないようにしてください。

4 作成した引越しデータを何に荷造りするかを選択します。荷造り先をクリックして選択し［OK］ボタンをクリックします。

ご参考

- 保存可能な保存先以外はグレー表示され、選択することができません。
- 荷造り先にCDを選択した場合はそのままトラックCDへの書き込みが始まります（荷造り先にCDを選択した場合、1枚目はトラックCDに書き込まれることになります）。
- 荷造り先にDVDを選択した場合には、「ブランクのDVDを挿入してください」というメッセージが表示されてからトラックCDが入っていたCD/DVDドライブに新しいDVDを挿入してください。

5 書き込み速度の選択画面が表示される場合は、「Max」を選択してください。

6 書き込みが無事に終了するとディスクが自動的に排出されます。引越しデータの荷造り完了画面が表示されましたら、［OK］をクリックしてください。

以上で引越しデータの荷造り（バックアップ）作業は終了です。

ご参考

- 何らかの事情により荷造りできなかったファイルがあった場合、ファイル名などと原因を明記したテキストファイルがデスクトップに作成されます。（ファイル名は「安心楽々引越しパック-荷造りできなかったファイル.txt」です。）

引越しの荷解きをする

1 引越しデータの荷造りに使用したトラックCDをCD/DVDドライブにセットします。

安心楽々引越しパック荷解き用のソフトウェアが起動します。

2 ダンボールの形をしたウィンドウが表示されます。画面に表示される指示に従って、引越しの荷解きをします。

「パスワード登録」画面では、引越しの荷造りをするの手順**3**（☞前ページ）で入力したパスワードを入力してください。

3 引越しデータの荷解きが終了すると、引越し完了のメッセージが表示されます。

4 ［OK］をクリックします。

これでデータの引越しは完了です。

引越したデータの種類によってはパソコンの再起動が必要になる場合もあります。その際は、［OK］をクリックして、パソコンを再起動してください。

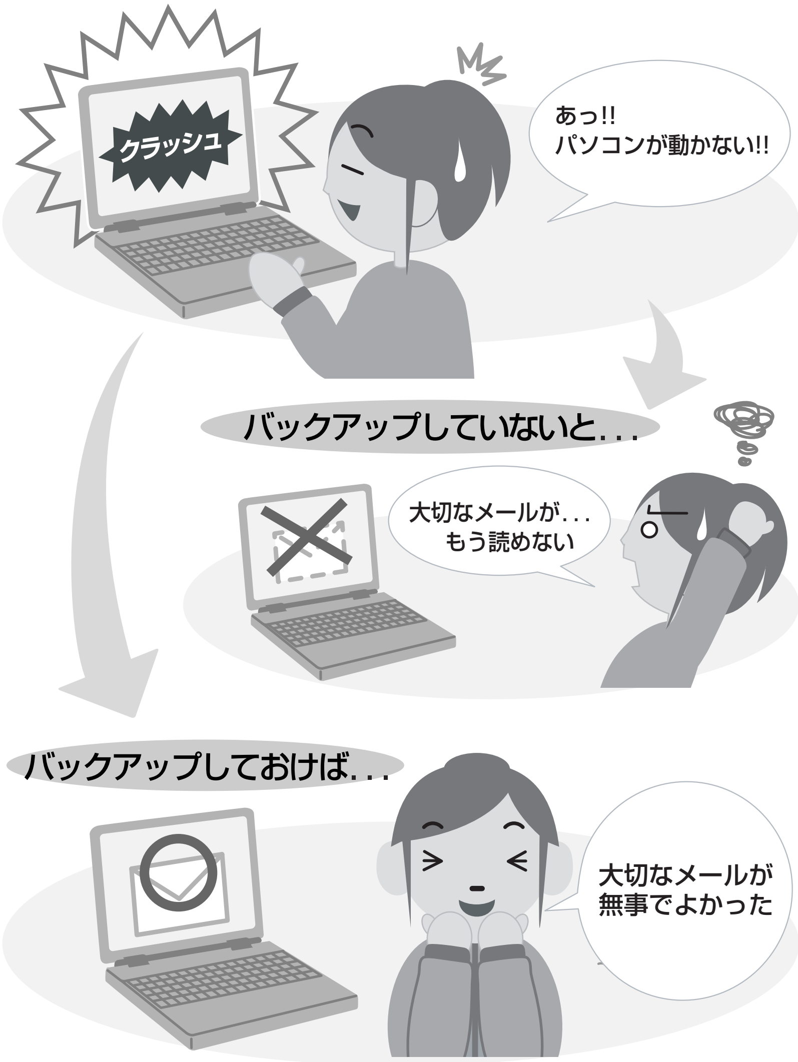
ご参考

- 詳しい操作方法や制限事項については、「安心楽々引越しパック」のヘルプを参照してください。ヘルプは以下の手順で表示させてください。
  ・[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「安心楽々引越しパック」-「安心楽々引越しパックのヘルプ」をクリックします。
- 引越しデータは、いったんハードディスクの空いている場所に格納されます。空き容量が足りない場合は、どの程度足りないか表示されます。その際は、ハードディスク内のデータを整理してから、引越ししてください。
- 「安心楽々引越しパック」に関しては、イージーシステムズジャパン株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、メビウス電子マニュアルの「お問い合わせ先一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。

大切なデータをバックアップする

BACKUP

パソコンを使っていくうちに、送受信した電子メールや作成した文書など、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなどの万一の場合に備えて、大切なデータは他の場所にもコピーしておきましょう。
データをコピーして他の場所に保存しておくことを、「バックアップ」といいます。大切なデータは、日ごろからこまめにバックアップするようにしてください。



このパソコンのハードディスクには、WindowsやアプリケーションソフトウェアなどがインストールされているCドライブの他に、何もデータが入っていないDドライブが用意されています。大切なデータは、ひとまずDドライブにバックアップしておきましょう。
Windowsの動作が不安定になるなどして再インストールする場合に、Cドライブの内容だけをご購入時の状態に復元すれば、Dドライブに保存されているデータは消さずに残すことができます。

ご注意

- Dドライブへのバックアップは、あくまでも一時的な対処法です。
  ハードディスク自体が故障してしまったときはDドライブの内容も読み出せなくなります。CD-R/RWや外付けハードディスクなどの記録メディアにもバックアップするようにしてください。
  「Drag' n Drop CD+DVD4」の「ノークリックバックアップ Auto-Grabber」を使用すると記録メディアにファイル・フォルダのバックアップができます。
  使い方についての詳細は、「ノークリックバックアップ Auto-Grabber」のヘルプを参照してください。
- ネットワークの設定などはファイルをコピーするだけではバックアップできません。必ずメモに控えておいてください。
- バックアップした後に、データの作成や編集をしたデータは、バックアップデータを戻して復元すると失われてしまいます。

Dドライブにフォルダを作成する

何のデータをバックアップしたかわかりやすく整理するために、バックアップをする前にあらかじめフォルダを作成しておきます。

1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。

2 「ローカルディスク(D:)」アイコンをダブルクリックします。

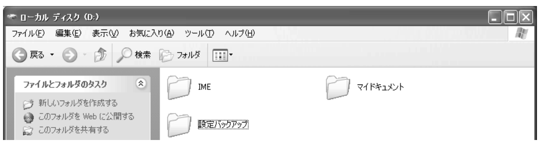
3 「ファイルとフォルダのタスク」欄の「新しいフォルダを作成する」をクリックします。

「新しいフォルダ」が作成されます。フォルダを作成した直後は、フォルダ名が青く反転されていて、名前を変更できる状態になっています。

4 「マイドキュメント」と入力して、フォルダ名を変更します。

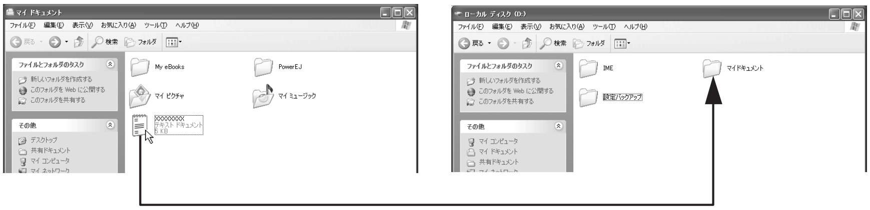
5 手順**3**と手順**4**を繰り返して、以下のフォルダをそれぞれ作成します。

- 設定バックアップ
- IME



ファイルをバックアップする

ご購入時の状態では、アプリケーションソフトウェアなどで作成した文書ファイルやデータファイルは、主にCドライブの「マイドキュメント」フォルダ内に保存されるようになっています。(アプリケーションソフトウェアによっては、他のフォルダにデータが保存されている場合もあります。)これらのデータを前ページの手順**4**で作成したDドライブの「マイドキュメント」フォルダにコピーしてください。
ドラッグ&ドロップ(アイコンをクリックし、左ボタンを押したままアイコンを目的の場所に移動して左ボタンを離す)でファイルをフォルダへ移動させると、コピーできます。



インターネットの設定やメールのデータをバックアップする

ここでは「ファイルと設定の転送ウィザード」を使って次の設定やデータをバックアップします。

- ●ダイヤルアップの設定
- ●Internet Explorerのお気に入り
- ●Internet Explorerの設定
- ●Internet Explorerのセキュリィティの設定
- ●Outlook Expressの電子メール
- ●Outlook Expressのアドレス帳
- ●Outlook Expressのメールアカウント

1 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「システムツール」−「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリックします。
「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックします。

3 「転送元の古いコンピュータ」をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。
「Windowsセキュリティの重要な警告」画面が表示されたときは、[ブロックを解除する]をクリックします。

4 「その他」をクリックして選択し、[参照]をクリックします。
「フォルダの参照」画面が表示されます。

5 「マイコンピュータ」をクリックします。

6 「ローカルディスク(D:)」をクリックします。

7
129ページの手順5で作成した「設定バックアップ」をクリックし、[OK]をクリックします。

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面に戻ります。

8
[次へ]をクリックします。

9
「設定のみ」をクリックして選択し、「[次へ]をクリックしてから、ファイルと設定のカスタム一覧を選択する(上級者用)」をクリックしてチェックマークを付けます。



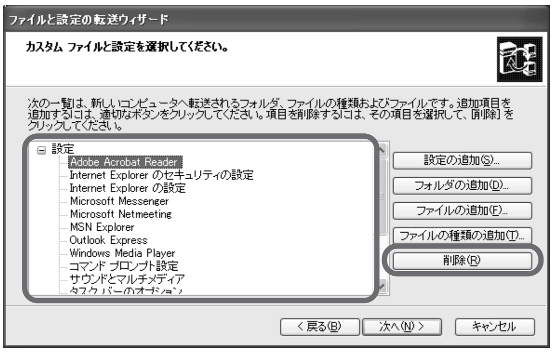
10
[次へ]をクリックします。

11
「Internet Explorerの設定」と「Internet Explorerのセキュリティの設定」、「Outlook Express」だけが表示されるようにします。

① 「Internet Explorerの設定」と「Internet Explorerのセキュリティの設定」、「Outlook Express」以外の項目をクリックして選択します。

② [削除]をクリックします。

③ ①と②を繰り返して「Internet Explorerの設定」と「Internet Explorerのセキュリティの設定」、「Outlook Express」以外の項目を削除します。



「Internet Explorerの設定」または「Internet Explorerのセキュリティの設定」、「Outlook Express」を削除してしまったときは、[設定の追加]をクリックし、表示される画面で削除した内容を追加してください。

12 [次へ]をクリックします。
設定の収集が開始されます。

13 設定の収集が終わったら、[完了]をクリックします。

IMEのユーザー辞書をバックアップする

IMEのユーザー辞書は、以下の手順でバックアップします。

1 IMEツールバーの （ツール）をクリックし、「辞書ツール」をクリックします。
「Microsoft IME 辞書ツール」画面が表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「一覧の出力」をクリックします。
「一覧の出力：単語一覧」画面が表示されます。

3 保存場所を129ページの手順**5**で作成した「ローカルディスク（D:）」の「IME」フォルダにして、ファイル名を付けます。

4 [保存]をクリックします。

5 [終了]をクリックして「一覧の出力」画面を閉じます。

6 画面右上の をクリックして「Microsoft IME 辞書ツール」画面を閉じます。

ネットワークの設定を控える

パソコンのネットワーク設定は以下の手順でメモに控えます。

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 「ローカルエリア接続」をクリックして選択し、「ネットワークタスク」欄の「この接続の設定を変更する」をクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

5 「この接続は次の項目を使用します」欄に表示されている内容をメモに控えます。

6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をダブルクリックします。
「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。

7 すべての設定内容をメモに控えます。

8 [詳細設定]をクリックします。
「TCP/IP詳細設定」画面が表示されます。

9 すべてのタブの設定内容をメモに控えます。

10 [キャンセル]をクリックして「TCP/IP詳細設定」画面を閉じます。

11 [キャンセル]をクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)」画面を閉じます。

12 [キャンセル]をクリックして「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を閉じます。

13 画面右上の ☒ をクリックして「ネットワーク接続」画面を閉じます。

ご参考

「安心楽々引越しパック」を使用すると、次のデータや設定のバックアップをとることもできます。

- マイドキュメント
- お気に入り
- Cookies
- Microsoft IMEユーザー辞書
- ダイヤルアップの設定
- デスクトップ
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Office ユーザーテンプレート
- Microsoft Outlook

使い方についての詳細は、「安心楽々引越パック」のヘルプを参照してください。

復元する

ここでは、Windowsの動作が不安定になるなどして、再インストールが必要になり、再インストール後、D ドライブにバックアップしておいたインターネットの設定やメールのデータ、およびIMEのユーザー辞書を復元する方法について説明します。

ご購入時の状態に戻す(再インストール)

Dドライブの内容はそのままにして、Cドライブの内容だけをご購入時の状態に戻す(再インストール)方法については、**取扱説明書**(別冊)を参照してください。

インターネットの設定やメールのデータを復元する

ここでは「ファイルと設定の転送ウィザード」を使ってバックアップした内容を復元します。

ご購入時の状態に戻す(再インストール)をしないで、復元すると

- 「Outlook Expressの電子メール」と「Outlook Expressのメールアカウント」のデータは、現在のデータはそのまま残り、バックアップしているデータが追加されます。現在のデータとバックアップしているデータで同じデータがある場合、同じデータが複数存在することになります。
- 「Internet Explorerのお気に入り」と「Outlook Expressのアドレス帳」のデータは、現在のデータはそのまま残り、バックアップしているデータの中で現在のデータにないものが追加されます。

1 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「システムツール」−「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリックします。

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックします。

3 「転送先の新しいコンピュータ」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

4 「ウィザードディスクは必要ありません。既に、古いコンピュータからファイルと設定を収集しました」をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。

5 「その他」をクリックして選択し、[参照]をクリックします。

「フォルダの参照」画面が表示されます。

6 「マイコンピュータ」をクリックします。

7 「ローカルディスク(D:)」をクリックします。

8 「設定バックアップ」をクリックし、[OK]をクリックします。
「ファイルと設定の転送ウィザード」画面に戻ります。

9 [次へ]をクリックします。
ファイルと設定の転送が始まります。

10 [完了]をクリックします。
確認の画面が表示されます。

11 [はい]をクリックします。
ログオフします。

IMEのユーザー辞書を復元する

バックアップしたIMEのユーザー辞書は、以下の手順で復元できます。

1 IMEツールバーの (ツール)をクリックし、「辞書ツール」をクリックします。
「Microsoft IME 辞書ツール」画面が表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「テキストファイルからの登録」をクリックします。
「テキストファイルからの登録」画面が表示されます。

3 「ローカルディスク(D:)」の「IME」フォルダを選択し、[開く]をクリックします。

4 バックアップしたファイルをクリックして選択し、[開く]をクリックします。

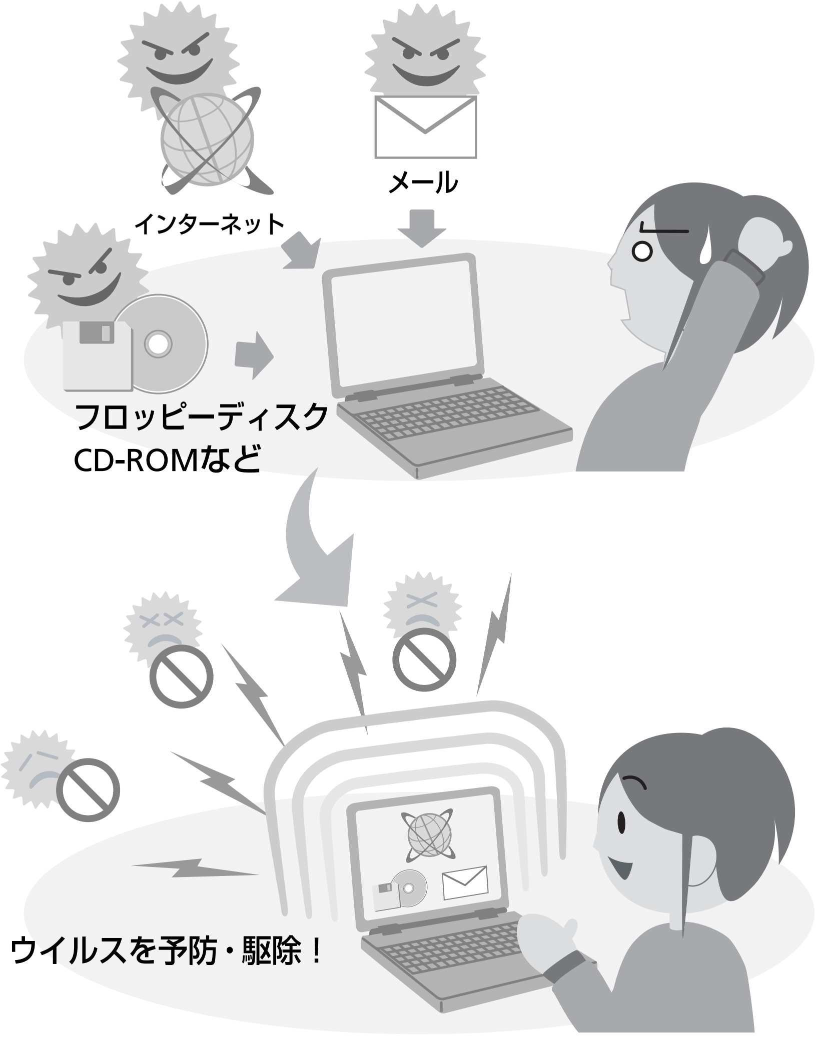
5 [終了]をクリックして「テキストファイルからの登録」画面を閉じます。

6 画面右上の をクリックして「Microsoft IME 辞書ツール」画面を閉じます。

COMPUTER VIRUS

コンピュータウイルスを予防する・駆除する

コンピュータウイルスとは、意図的に作成された悪質なプログラムの一種です。お使いのパソコンがコンピュータウイルスに感染すると、ハードディスク内のデータが破壊されたり、外部からパソコンを操作されたり、コンピュータウイルスを添付したメールを勝手に送信するなど、さまざまな被害が生じます。こういったコンピュータウイルスに感染しないように日ごろから感染の予防をしましょう。また万一、感染した場合はすぐに駆除しましょう。



コンピュータウイルスからの感染を防ぐには

- 最新のコンピュータウイルス用の予防・駆除ソフトウェアを活用する
  新種ウイルスに対応するために、最新のプログラム(ウイルス検索エンジン)とウイルス定義ファイルに更新してください。
- メールの添付ファイルは、開く前にウイルス検査をする/知らない人からのメールは不用意に開かない
  受信した電子メールに添付ファイルが付いている場合、開く前に必ずウイルス検査をしてください。また、知らない相手からのメールは不用意に開かないでください。
- 入手したファイルは、開く前にウイルス検査をする
  インターネットからダウンロードしたファイルや他から入手したファイルは、開く前に必ずウイルス検査をしてください。また、信頼できないサイトや入手先が不明なフロッピーディスクやCD-ROMなどは、ウイルスに感染する危険性が高いので注意してください。
- アプリケーションソフトウェアのセキュリティ機能を活用する
  • WordやExcelのファイルを扱うときは、マクロ機能の自動実行を無効にしてください。
  • Outlook ExpressやOutlookのプレビューウィンドウを表示しないでください。
  • Internet Explorerのセキュリティレベルを適切(「中」レベル以上)に設定してください。
  設定方法などについて詳しくは、各ソフトウェアのヘルプなどを参照してください。
- Windowsやアプリケーションソフトウェアのアップデートをする
  上記のような基本的なウイルス対策を行っていても、セキュリティホール(セキュリティ上の弱点)のあるソフトウェアを使用していると、ウイルスに感染してしまうことがあります。セキュリティホールは頻繁に発見されているので、インターネットに関連するソフトウェア(ブラウザやメールソフト)などの製造元のホームページを定期的にチェックして、必要な場合はセキュリティホールを修正するプログラムを使ってアップデートしてください。
  Windows セキュリティセンターでは、Windowsファイアウォール、自動更新によりコンピュータウイルスやインターネットからアクセスしようとする侵入者などのセキュリティ上の脅威からパソコンを保護します。
  Windows セキュリティセンターで、「ファイアウォール」と「自動更新」が有効になっているか確認してください。
  [スタート]ー「コントロールパネル」をクリックし、「セキュリティ センター」をクリック、またはダブルクリックするとWindows セキュリティセンター画面が表示されます。

大切なデータはバックアップを取りましょう

- 万一ウイルスに感染してしまうと、データを修復できないことがあります。ウイルス感染被害からの復旧のため、大切なデータはバックアップを取りましょう。

万一コンピュータウイルスに感染してしまった場合

最新のコンピュータウイルス用の予防･駆除アプリケーションソフトなどを使って、駆除してください。IPA（情報処理推進機構）に報告をし、感染したと思われる日以降にデータやファイルなどを配付した送付先に報告してください。
最新のコンピュータウイルス用の予防･駆除アプリケーションソフトなどを使っていても駆除できなかった（被害があった）場合は、ハードディスク全体を再インストールしてください。（☞取扱説明書）

IPAへのコンピュータウイルスの報告

コンピュータウイルスに感染したり発見したときは、駆除した後で、IPAセキュリティセンターにコンピュータウイルスの報告をするようにします。これは強制ではありませんが、社会の安全性の維持や感染被害の拡大と再発防止に役立てるための基礎資料となり得るものなので積極的に協力しましょう。
◎IPAセキュリティセンター
http://www.ipa.go.jp/security/

マカフィー･ウイルススキャンをインストールする

マカフィー･ウイルススキャンがインストールされていない機種もあります。インストールされていない機種は、次の手順に従ってインストールした後、アップデートを実行してください。

1. 「スタート」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
2. 「名前」欄にc:¥application¥vscan¥setup.exe と入力し、[OK]をクリックします。
3. [はい]をクリックします。
   「McAfee VirusScan インストールウィザード」画面が表示されます。
4. 画面の指示にしたがってインストールします。
5. 「Virus Scanのインストールが正常に完了しました。」と表示されたら、[再起動]をクリックします。
   パソコンが再起動します。

ウイルス対策ソフトを更新する

お使いのパソコンには、コンピュータウイルスを検査･駆除するソフトの「マカフィー･ウイルススキャン」が用意されています。まず、アップデートをしましょう。
初回のアップデート終了後、「マカフィー･ウイルススキャン」は、インターネットに接続して最新の情報やデータがないかを検索します。インターネットに接続できる状態にしておきましょう。
「マカフィー･ウイルススキャン」の主な機能には次のものがあります。

- ActiveShield
  コンピュータウイルスの侵入を自動的に監視して、感染を予防します。
- ウイルススキャン
  手動でウイルスに感染しているファイルやデータがないか検査します。

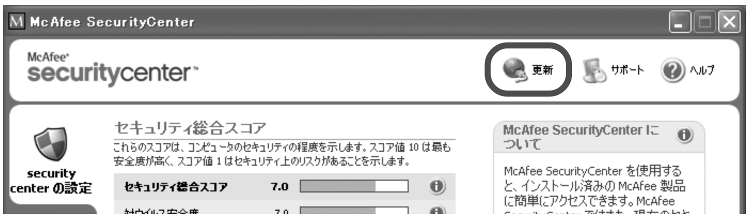
エンジンとウイルス定義ファイルのアップデートについて

- エンジンとウイルス定義ファイルはインターネット上にあります。アップデートする前に、インターネットに接続できるようにしておいてください。
- エンジンとウイルス定義ファイルはユーザー登録から 90 日間無料でアップデートできます。無料のアップデート期間が過ぎた後は有料で1年間アップデートを延長できます。
  ユーザー登録完了後は、マカフィーから定期的にキャンペーンメールが送付されてきますので、ここから延長のお申し込みができます。

初めて使用するときは、ユーザー登録が必要です。
ユーザー登録を行うには、インターネットと、メール設定を完了している必要があります。（Eメールアドレスが必要です。）
ユーザー登録は、初回のアップデート時に行います。
以下に記載の手順は、お使いのパソコン（ご使用の環境）により、異なる場合があります。異なった手順画面が表示された場合は、画面に表示された内容をよくお読みの上、アップデートを完了させてください。

1 タスクバーの M をダブルクリックします。

2 McAfee SecurityCenterの［更新］をクリックします。



「McAfee SecurityCenter更新」画面が表示されます。

3 ［今すぐ確認する］をクリックします。



「更新を確認しています」画面が表示されます。

4 ［更新］をクリックします。

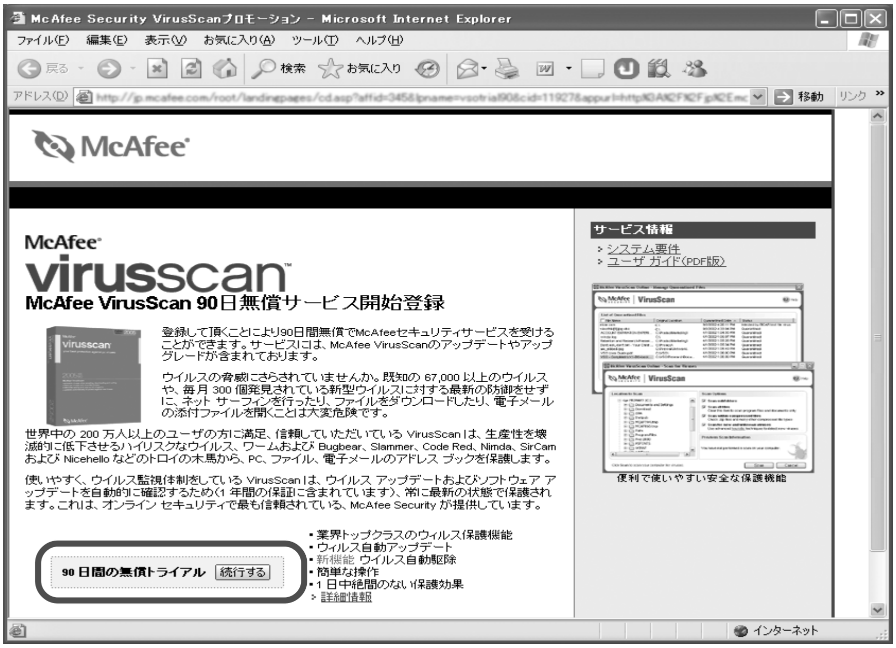


「90日無償サービス開始登録ページ」が表示されます。

ご参考

- アップデートを促す画面が表示されているときは、［今すぐ登録する］をクリックすると、「90日無償サービス開始登録ページ」が表示されます。

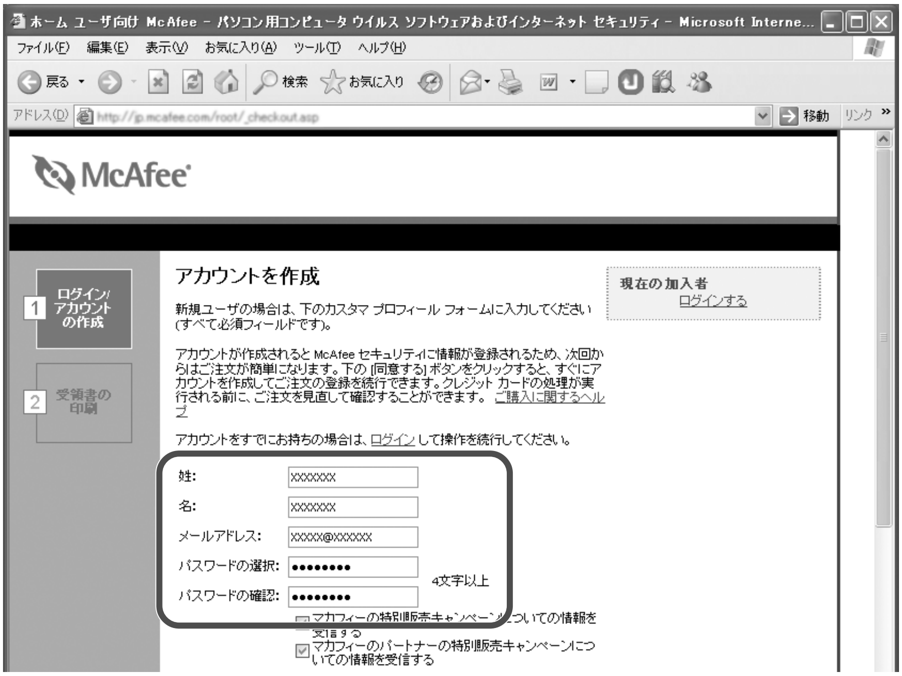
5 90日無償サービス開始登録ページの「90日間の無償トライアル」の[続行する]をクリックします。



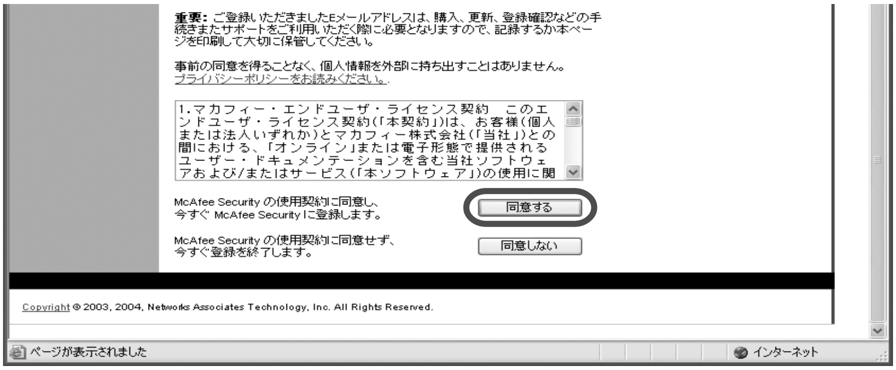
6 メッセージが表示された場合は、[はい]をクリックします。

7 「姓」、「名」、「メールアドレス」、「 パスワードの選択」、「 パスワードの確認」を入力します。

メールアドレス:アカウント(ユーザー登録)アクティブ化メールがマカフィーより送付されますので、まちがいなく入力してください。



8 規定をお読みいただき、[同意する]をクリックします。



9 メッセージが表示された場合は、[はい]および[OK]をクリックします。

10 画面の指示に従って、アップデートを完了します。

11 McAfee VirusScanのインストールが完了したメッセージが表示されたら、[完了]または[再起動]をクリックします。

登録したメールアドレスに、マカフィーよりアカウント(ユーザー登録)アクティブ化メールが送付されます。

12 メールを確認し、記載されているURLをクリックします。

ホームページが表示され、アクティブ化が完了します。

これで、以降90日間無償アップデートを利用することができ、インターネットに接続されていれば4時間おきにアップデートを確認し、自動的にアップデートが完了します。また、Activeshieldが常にコンピュータウイルスの侵入を監視し、感染を予防することができます。

ご参考

- この他の使い方についての詳細は、ヘルプを参照してください。



- 「マカフィー・ウイルススキャン」に関しては、マカフィー株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**メビウス電子マニュアル**の「お問い合わせ一覧」(☞20ページ)でご確認いただくか、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。

コンピュータウイルスに感染しているファイルを発見したときは

コンピュータウイルスに感染しているファイルが発見されたときは、自動的に駆除します。駆除できなかった場合は、メッセージが表示されますので、対処方法を選択して駆除してください。詳しくは、ヘルプを参照してください。

メビウス
活用ガイド

● メビウス電子マニュアル

パソコンの画面にも専用の
マニュアルがあります。
冊子のマニュアルとあわせ
てご覧ください。



● メビウスホームページ

http://www.sharp.co.jp/mebius/

インターネットをご利用の方は、上記のホームページも
ご活用ください。「メビウスホームページ」では、商品
情報やQ&A、周辺機器情報、ダウンロード情報など、役
立つ情報を掲載しています。

● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・

別冊の「お客様サポートシステムのご案内」をご覧くだ
さい。

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

この説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。